

第129回宍粟市議会臨時会 提出議案等一覧（令和８年７月16日提出分）

議案番号	件 名
第 90 号議案	令和８年度宍粟市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第１号）の専決処分（専決第１号）の承認について
第 91 号議案	令和８年度宍粟市一般会計補正予算（第２号）
報告第７号	宍粟メイプル株式会社令和７年度決算書及び令和８年度事業計画書等の提出について
報告第８号	播磨いちのみや株式会社令和７年度決算書及び令和８年度事業計画書等の提出について
報告第９号	有限会社伊沢の里令和７年度決算書及び令和８年度事業計画書等の提出について
報告第10号	公益財団法人しろう森林王国観光協会令和７年度決算書及び令和８年度事業計画書等の提出について
報告第11号	公益財団法人宍粟市文化振興財団令和７年度決算書及び令和８年度事業計画書等の提出について
報告第12号	市議会の権限に属する事項中市長の専決処分事項の報告について

第90号議案

令和8年度宍粟市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）の専決処分（専決第1号）の承認について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、議会の承認を求める。

令和8年7月16日提出

宍粟市長 福 元 晶 三



専決第 1 号

令和 8 年度宍粟市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 1 号）

令和 8 年度宍粟市の国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 21,000 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 211,451 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

上記は、急を要するため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 179 条第 1 項の規定により専決処分する。

令和 8 年 7 月 3 日

宍粟市長 福 元 晶 三

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算 補 正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補 正 前 の 額	補 正 額	計
6 諸 収 入		1,779	21,000	22,779
	1 雑 入	1,779	21,000	22,779
歳 入	合 計	190,451	21,000	211,451

歳 出

(単位：千円)

款	項	補 正 前 の 額	補 正 額	計
1 総 務 費		153,479	21,000	174,479
	1 施 設 管 理 費	153,479	21,000	174,479
歳 出	合 計	190,451	21,000	211,451

1 総括
歳入

歳入歳出補正予算事項別明細書

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計
6 諸収入	1,779	21,000	22,779
歳入合計	190,451	21,000	211,451

歳 出

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1 総務費	153,479	21,000	174,479			21,000	
歳出合計	190,451	21,000	211,451			21,000	

2 歳 入

(款) 6 諸収入

(項) 1 雑入

(単位 : 千円)

目	補正前の額	補 正 額	計	節		説 明
				区 分	金 額	
1 雑入	1,779	21,000	22,779	1 雑入	21,000	公用車事故損害共済金 21,000
計	1,779	21,000	22,779			

3 歳 出

(款) 1 総務費

(項) 1 施設管理費

(単位 : 千円)

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			節		説 明	
				特 定 財 源			一般財源	区 分		金 額
				国県支出金	地 方 債	そ の 他				
1一般管理費	153,479	21,000	174,479			21,000		21 補 償、 補 填 及 び 賠 償 金	21,000	公用車事故等に係る賠償金21,000
計	153,479	21,000	174,479			21,000				

第91号議案

令和8年度宍粟市一般会計補正予算（第2号）

令和8年度宍粟市の一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ22,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ24,771,896千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和8年7月16日提出

宍粟市長 福元晶三

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算 補 正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補 正 前 の 額	補 正 額	計
15 国 庫 支 出 金		2,949,685	22,000	2,971,685
	2 国 庫 補 助 金	869,415	22,000	891,415
歳 入	合 計	24,749,896	22,000	24,771,896

歳 出

(単位：千円)

款	項	補 正 前 の 額	補 正 額	計
3 民 生 費		7,742,667	1,000	7,743,667
	1 社 会 福 祉 費	4,387,971	1,000	4,388,971
6 商 工 費		802,649	21,000	823,649
	1 商 工 費	802,649	21,000	823,649
歳 出	合 計	24,749,896	22,000	24,771,896

1 総括
歳入

歳入歳出補正予算事項別明細書

(単位：千円)

款		補正前の額	補正額	計
15	国庫支出金	2,949,685	22,000	2,971,685
歳入合計		24,749,896	22,000	24,771,896

歳 出

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				
				特定財源			一般財源	
				国県支出金	地方債	その他		
3 民生費	7,742,667	1,000	7,743,667	1,000				
6 商工費	802,649	21,000	823,649	21,000				
歳出合計	24,749,896	22,000	24,771,896	22,000				

2 歳 入

(款) 15 国庫支出金

(項) 2 国庫補助金

(単位 : 千円)

目	補正前の額	補 正 額	計	節		説 明
				区 分	金 額	
1 総務費国庫補助金	414,934	22,000	436,934	1 総務管理費補助金	22,000	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 22,000
計	869,415	22,000	891,415			

3 歳 出

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(単位 : 千円)

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			節		説 明	
				特 定 財 源			一般財源	区 分		金 額
				国県支出金	地 方 債	そ の 他				
1社会福祉 総務費	958,818	1,000	959,818	1,000				18 負担金、補助 及 び 交 付 金	1,000	食のセーフティネット支援事業補助金 1,000
計	4,387,971	1,000	4,388,971	1,000						

(款) 6 商工費

(項) 1 商工費

2商工業振 興費	429,224	21,000	450,224	21,000				18 負担金、補助 及び 交 付 金	21,000	収益力向上環境整備支援金 21,000
計	802,649	21,000	823,649	21,000						

報告第 7 号

宍粟メイプル株式会社令和 7 年度決算書及び令和 8 年度事業計画書等の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の 3 第 2 項及び地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第173条の 5 第 1 項の規定により、宍粟メイプル株式会社の令和 7 年度決算書及び令和 8 年度事業計画書等を提出する。

令和 8 年 7 月 16 日提出

宍粟市長 福 元 晶 三

〔報告事項〕

第34期(令和7年度)事業報告書

事業報告 自:2025 年4月1日 至:2026 年3月31日

《総括》

令和7年度を振り返ると、一昨年からの米流通停滞による需給バランス悪化が米価格の異常な高騰を招き、その影響から昨年从今年にかけても米買い入れ価格や販売価格の高騰が続いています。また、ロシアやアメリカなど大国の軍事侵攻が端緒となり、物価高騰や燃料、資機材不足など弊社の経営環境にも決して小さくない影響が現在も続いています。

このような厳しい環境の中、令和7年度事業は、3年間の取組指針である「復活戦略ストーリー」の最終年度となり、取組目標を「挑戦期」と位置付けて、既存事業のブラッシュアップによる集客と売り上げ増対策を進め、一方、総合シフト制による効率的な人員配置とスキルアップを進展させ、徹底した整理整頓による経費縮減に取り組んでまいりました。

結果、会社全体の売上総額は、道の駅みなみ波賀で対前年5%増、加工部門が対前年22%増などが要因し、当初目標とほぼ同額の4億5,185万円を計上しました。また、変動費の抑制や効率的な人員配置、FL値管理の徹底などによる経営改善が引き続き進展したことにより、目標には届きませんでした。経常利益は1,164万円を確保することとなり、令和5年より3期連続して黒字化を達成することができ、自己資本比率も24.7%まで回復しております。

また、コロナ融資が大部分を占める資金返済では、起債償還が計画通りに進みピークの令和2年9,300万円より4割縮減しており、繰越利益剰余金の早期プラス化と連動して健全経営を進めております。年度目標とした挑戦期については、波賀味噌増産計画や新商品開発の準備、第2次中期経営計画策定など十分ではありませんが次年度以降に具現化する事業に取り組んでおり、情報戦略の柱となる横断的なプロジェクトチームが機能的に動き始めたことなど、評価することができるものと考えております。

次期年度は、先ほど述べました第2次中期経営計画(R8～R10)のスタートであり、初年度の重点テーマを「構造改革期」と位置づけ、組織構造、仕組み、連携体制のブラッシュアップを柱に引き続き経営健全化を目指して事業を推進してまいります。

以下、7年度事業の詳細を報告いたします。

1. 基本理念

「宍粟市の限らない発展を願い、中山間地の特性を活かした商品開発及び観光振興を図り、社員と地域住民の幸せを目指す」

2. 第34期シーズン キャッチコピー

- ①「今在ることは、全ての事物のお陰です。を浸透させ、果敢に挑戦」
- ②「挑戦とは、考えること、あきらめないこと。そしてみんなで喜び合うこと」

3. 経営状況

1) 経営分析 《34期経営概要分析》

収入面では、道の駅レストランでのモーニングサービスやリクエスト宴会が定着したことや、旬の食材を活かしたイベント等の定期開催により集客が進展し売上を大きく伸ばし、道の駅はがでの木地師飯の知名度アップなどにより売店部門が活況となり道の駅全体へ好影響がでております。また、加工部門では、杵つき餅の製造販売が上振れしたことや波賀味噌や揚げかきもちといった弊社主力商品が売れ筋となり、新規顧客開拓が進展し売上を伸ばしています。

一方、アウトドアブームが終わったこともあり、キャンプやログハウス利用客が激減したことや温泉、ご宴会利用客の減少によりフォレストステーション全体の売上が低迷しており、道の駅への誘客などにも影響が懸念されております。グループ全体での売上は、みなみ波賀売店及びレストラン事業の堅調に助けられ、前年度より3.2%増の4億5,185万円となりました。

支出面では、光熱水費や資機材費の高騰で物価が上昇し変動費が4.7%増加していることや人員不足を補うため派遣従業員補充による委託料の増加、人件費では最低賃金引き上げに伴う給与措置、賞与の定期支給などの経費増加要因はあるものの、継続したFL値管理による経費縮減や総合シフト制による人件費抑制などが進展したことにより、固定費の増加を1%に抑制することとなり、結果、経常利益は対前期 51.5% 増の1,164万円を確保し、3期連続の黒字決算となりました。

2) 資金残高の推移

経営の基盤となる預金残高については、3月末で54,641千円となり去年同期より2ポイント増加しており、経営は堅調でバランスの取れた資金管理が維持されています。

ただし目標額には依然届いておらず、長期的な不測の事態も想定し、引き続き売上増と経営改善を並行して取り組むことで運転資金の底上げを引き続き図らなければならないと考えています。

3) グループ・部門別売上、経常利益

◆上半期 部門別実績集計 (R7.4 ~ R7.9)

単位:千円

部門 区分	道の駅はが	道の駅みなみ波賀		産品加工所	フォレスト ステーション	グループ合計
	売店・食堂	売店・パン	レストラン			
上期売上目標	14, 400	92, 600	18, 900	17, 100	105, 700	248, 700
上期経常利益目標	660	8, 200	1, 300	△2, 850	13, 700	21, 010
上期売上実績	12, 651	97, 915	20, 187	20, 560	96, 554	247, 867
上期経常利益実績	702	10, 460	920	△1, 164	6, 982	17, 900

◆下半期 部門別実績集計 (R7.10 月 ~ R8.3 月)

部門 区分	道の駅はが	道の駅みなみ波賀		産品加工所	フォレスト ステーション	グループ合計
	売店・食堂	売店・パン	レストラン			
下期売上目標	8, 900	68, 900	15, 100	28, 100	82, 300	203, 300
下期経常利益目標	△130	△300	△1, 100	3, 420	△6, 900	△5, 010
下期売上実績	8, 158	73, 121	16, 831	32, 358	73, 519	203, 987
下期経常利益実績	△1, 118	△1, 360	△1, 059	3, 575	△6, 296	△6, 258

◆今期決算

部門 区分	道の駅はが	道の駅みなみ波賀		産品加工所	フォレスト ステーション	グループ合計
	売店・食堂	売店・パン	レストラン			
今期売上目標	23, 300	161, 500	34, 000	45, 200	188, 000	452, 000
今期経常利益目標	530	7, 900	200	570	6, 800	16, 000
今期売上実績	20, 809	171, 036	37, 018	52, 918	170, 073	451, 854
今期経常利益実績	△416	9, 100	△139	2, 411	686	11, 642

3. 今期、取組強化の概要

1) 組織力、職員力強化

①部門体制の進化:フォレスト(フロント、ホール)、加工所(製造)部門

- ・多能工化を進展させ、総合シフト制を推進
- ・新卒採用対策:高校卒1名採用、繁忙期のパート、アルバイトの補完

②所属長会議、部門ミーティング改善の取り組み

- ・定期開催(月2回以内)、短時間開催(2時間以内)、会議録作成(記録者の指名)の徹底

③職員面談

- ・所属全従業員を対象とした所属長面談、所属長を対象とした社長面談を実施(8年1月中旬~2月中旬に実施)
- ・従業員面談結果を整理し社長へ報告し、従業員の健康状態、士気を確認 → 提案・改善活動を推進する。

④モチベーション向上

- ・賞与支給:基本給の1.0月(全職員対象 8月、12月支給 1人平均145千円)
- ・研修旅行:大阪方面へ日帰り旅行(R8年2月25日)を実施

⑤定期給与改定(4月実施)、係長・主任手当の創設(令和7年4月より支給)

- ・若年層の給与引き上げ(令和7年4月より実施)
- ・役職者の意識啓発と責務の明確化

⑦お客様接客3カ条の励行

- ・第1条 笑顔の対応 第2条 積極的なお声がけ 第3条 マイナス言葉の厳禁 を共有し、買い物環境の向上を目指す
- ・お客様都の接客を通し、感謝を学び自己啓発に結び付ける。

2) 経営力強化

①在庫管理の徹底(継続):月末棚卸の精度向上、主要在庫表作成による進捗管理の徹底

②イベントの定期開催、企画力充実による集客力の向上:特に1月~3月の閑散期の対策を強化している。

③FL比率改善の取組み:損益に大きく関係する指標なので、全員が目標数値を意識した取組を継続している。

④きめ細かなシフト管理、営業時間・週休日の変則運用:特に1月~3月の閑散期の対策を強化している。

⑤適正な資金管理と確実な返済計画の履行:収支予測集計表を活用し適正な資金管理、コロナ融資資金を遅滞なく返済

⑥第2次中期経営計画の策定(8年3月):令和8年~10年度まで3か年の取組方針・内容、数値目標を設定

4. 成果と課題

【成果】

- ①情報戦略プロジェクトの進展 : 高頻度の情報更新とタイムリーな情報発信が定着化し集客につながっている。
- ②加工部門の活性化 : イベントと加工商品のタイアップ、味噌/揚げかきもちの主力商品の増産が進んでいる。
- ③多能工化の進展 : 総合シフト制が機能し、職員のスキルアップ、多能工化に取り組んでいる。
- ④産官学連携の進展 : 神戸学院大学をはじめ大学連携が深化し、経営改善や商品開発等につながっている。
- ⑤イベントのパワーアップ : 開催頻度の向上、周知強化及び多彩なコンテンツの提供による集客増につながっている。
- ⑥整理整頓の進展 : 在庫管理強化、光熱水費高騰対策等による経費節減が維持されている。
- ⑦FL 比率の改善 : 飲食部門で 71.0% (71.8%)、販売部門で 81.1% (82.0%) ※()は、昨年度
- ⑧経営感覚の醸成 : 経営を意識した取組が進展し営業収益が増加、3 期連続の黒字化となっている。
- ⑨2025 ひょうご信用創生アワード優秀賞受賞 : 地域一体型経営再建モデルとして会社経営改善の取り組みが評価されました。

【課題、強化の視点】

- ①フォレスト事業の再構築: 新たなキャンプ場経営の視点で改善、体験型滞在プランを充実しグループ連携を強化
- ②道の駅はが事業強化: E-バイクを活用したアウトドア推進、新商品開発と並行した目的地化の推進
- ③道の駅機能強化: 施設の新たな多面的な活用、防災機能強化、周辺環境整備の視点で新たな施設整備、事業構想を推進する
- ④人材育成: 会社が成長するための組織体制強化、若年層スタッフ確保を進め、時代にマッチした人材育成、人事評価制度の構築
- ⑤次期指定管理受託への取組: 9 年度受託、更新に向け、会社経営基盤の強化、計画的かつ地域重視の事業運営、働きやすい職場を目指す。

5. 第2次中期経営計画策定について

第1次中期経営計画である「メイプル復活戦略」が R8年3月に終了するのを受け、今後3年間の経営基盤となる「第2次中期経営計画」を策定し、8 年度、9 年度、10 年度を事業計画期間とする新たな活動がスタートいたします。

3年間の重点取組目標と具体の主な取組課題は、次のとおりです。

- 1、人材育成の強化 : 研修制度充実、多能工化推進、計画的な人材確保、組織構成バランス改善、人事評価制度構築、給与水準引き上げ
- 2、生産性、安全性の向上 : 計画製造確立、計画的設備整備、新たな情報IT構築、効率化推進、安心安全の食品調達及び食品加工
- 3、地域サプライチェーンの構築 : 新たな生産販売体制構築、地域ブランド確立、産官学連携推進、広域連携構想の深化と連携強化

第 3 4 期

決 算 報 告 書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月 31日まで

◁

大 栗 メ イ プ ル 株 式 会 社
(法人番号：8140001039124)

損益計算書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目				金 額		
I	売上 補助 販	金 上 手 ・ 託 数	高 高 料 料	434,793,712 14,914,556 2,145,898	451,854,166	451,854,166
II	売 期 仕 コ 当 合 期 売	上 首 棚 入 ジ 管 製 末 上 棚 総	原 卸 理 受 造 原 卸 利	価 高 高 託 価 計 高 益	15,064,694 183,065,233 58,351,501 256,481,428 20,960,862	235,520,566 216,333,600
III	販 販 営	費 費 業	及 及 一 般 管 理 費 益	207,266,080	207,266,080	9,067,520
IV	営 受 貸 受 雑	業 取 倒 取	外 引 当 配 収	収 利 金 戻 当	46,747 640 4,000 3,599,024	3,650,411
V	営 支 貸 繰 雑	業 払 倒 資 延	外 利 債 産 債 損	費 用 息 却 却 失	653,749 12,038 366,666 42,660	1,075,113
経 常 利 益						11,642,818
VI	特 固 定	別 資 産	利 売 却 益	954,055	954,055	
VII	特 固 前	別 資 損 益	損 除 修 正 損	9 386,317	386,326	
税 引 前 当 期 純 利 益						12,210,547
法人税、住民税及び事業税				205,000		205,000
当 期 純 利 益						12,005,547

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
給 与 手 当	71,909,456
雑 給	11,076,977
旅 費 交 通 費	197,168
広 告 宣 伝 費	2,685,548
被 服 費	128,235
支 払 手 数 料	7,403,049
手数料 (クレジット)	2,365,495
役 員 報 酬	5,400,000
賞 与 引 当 金 繰 入	29,600
賞 与 金	6,025,934
法 定 福 利 費	12,006,284
福 利 生 産 費	2,528,619
福 減 価 却 費	2,247,009
地 代 家 賃 料	7,364,746
修 繕 費	620,195
研 修 費	3,691,261
通 信 費	245,455
水 道 光 熱 費	3,644,787
租 税 公 課	38,292,710
寄 付 金	1,231,876
接 待 交 際 費	18,945
保 険 料	31,348
備 品 消 耗 品 費	976,182
車 両 経 費	6,146,163
保 守 メ ン テ ナ ン ス 費	1,342,459
燃 料 費	4,959,564
業 者 委 託 費	1,582,433
雑 費	11,298,395
合 計	1,816,187
合 計	207,266,080

製 造 原 価 報 告 書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
I 材 料 費	
期 首 材 料 棚 卸 高	4,834,027
材 料 仕 入 高	28,609,458
合 計	33,443,485
期 末 材 料 棚 卸 高	4,425,288
当 期 材 料 費	29,018,197
II 労 務 費	
賃 金	16,542,111
賞 与	1,613,714
雑 給	3,392,849
法 定 福 利 費	1,132,714
当 期 労 務 費	22,681,388
III 経 費	
被 服 加 工 費	6,395
外 注 道 光 熱 費	50,323
水 道 光 熱 費	1,300,342
減 価 償 却 費	883,285
消 耗 品 費	2,157,854
通 信 費	1,116,199
燃 料 費	902,536
当 期 経 費	6,416,934
当 期 総 製 造 費 用	58,116,519
期 首 仕 掛 品 棚 卸 高	1,373,576
合 計	59,490,095
期 末 仕 掛 品 棚 卸 高	1,138,594
当 期 製 品 製 造 原 価	58,351,501

棚 卸 資 産 の 計 算 内 訳

令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
商 品	20,960,862
原 材 料	4,425,288
仕 掛 品 (半 成 品)	1,138,594
合 計	26,524,744

株主資本等変動計算書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位: 円)

I 株 主 資 本			
1. 資 本	金		
	当期首残高		60,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		60,000,000
2. 資 本 剰 余 金			
(1) 資 本 準 備 金			
	当期首残高		9,637,500
	当期変動額		0
	当期末残高		9,637,500
3. 利 益 剰 余 金			
(1) 利 益 準 備 金			
	当期首残高		245,959
	当期変動額		0
	当期末残高		245,959
(2) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金			
	当期首残高		-54,163,540
	当期変動額		
	当期純利益	12,005,547	12,005,547
	当期末残高		-42,157,993
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		-54,163,540
	当期変動額		
	当期純利益	12,005,547	12,005,547
	当期末残高		-42,157,993
株 主 資 本 合 計			
	当期首残高		15,719,919
	当期変動額		
	当期純利益	12,005,547	12,005,547
	当期末残高		27,725,466
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
III 新 株 予 約 権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純 資 産 の 部 合 計			
	当期首残高		15,719,919
	当期変動額		
	当期純利益	12,005,547	12,005,547
	当期末残高		27,725,466

個 別 注 記 表

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

(2)無形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

(3)長期前払費用

期間均等償却を採用しております。

2. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

56,610千円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

1,734 株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、15,989.31円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、6,923.61円であります。

以 上

令和 8 年度 宍粟メイプル(株) 事業計画書

1. 本年度事業の位置づけ

令和 5 年に第 1 次中期経営計画として「宍粟メイプル復活戦略ストーリー」を策定し、どん底まで落ち込んだ会社の経営体力回復を最重要課題と捉え、徹底した経費見直しと新たな事業展開による売上増を目指した経営に取り組んだ結果、5 年度から連続し経営黒字化を達成し 7 年度も堅調に事業を展開することができ、所期の目的である経営改善面では一定の成果があったと評価しております。

しかしながら、会社を取り巻く社会的、経済的環境がますます複雑多岐になって行く現状を踏まえ、弊社の課題と強化しなければならない分野を的確にとらえ、今後 3 年間の目指す方向性と重点的取り組みを示すため第 2 次中期経営計画を策定し、計画的かつ戦略的に事業を推進いたします。加えて、人口減少がもたらす様々な影響が深まる当市において、その課題解決には交流人口を増やすことが一番求められることであり、あらゆる角度からアクションをおこすことが「地域活力」を取り戻す最大かつ唯一の方法であり、そのためには、第三セクターである弊社の存在意義と経営理念に基づき、地域や来訪者に心から愛され利用していただける「道の駅はが」「道の駅みなみ波賀」「東山フォレストステーション」に発展させ、令和 8 年度を第 2 次中期経営計画で示す 1 年目の計画目標である「構造改革期」にしなければなりません。

ついては、以下のとおり 8 年度事業計画を策定し、引き続き、連携強化しグループが一体となって事業を展開いたします。

2. 基本理念

「宍粟市の限りない発展を願い、中山間地の特性を活かした商品開発及び観光振興を図り、社員と地域住民の幸せを目指す」

3. 社長通達

- | | | | |
|-----------|----------|----------------|-------------|
| 1) 従業員のこと | ①笑顔で挨拶 | ②ヒト、モノ、コトに絶対感謝 | ③この地域を好きになる |
| 2) 仕事のこと | ①整理と整頓 | ②働く意味を深く知る | ③この仕事を好きになる |
| 3) 経営のこと | ①徹底的に考える | ②支出を図り、収入を制す | ③この職場を好きになる |

4. 令和 8 年度 シーズン・キャッチコピー

- ①「変化することを恐れず、改革を確実に実行する」
- ②「ひとり一人がワンランク上の商品づくり、サービス提供に取り組む」

5. 経営目標

1) 共通事項

- ①第2次中期経営計画初年度の位置づけを理解し、「改革」に勇気をもって果敢に踏み込む。
- ②部門ごとの重点取組課題を捉え、一人ひとりが目標に向かって行動をおこす。
- ③総合シフト制をさらに深化させ多能工化を進展し、自己のスキルアップと生産効率の向上による経営改善を図る。
- ④成果指標1:企画、イベントの充実による集客に注力し、対前年度集客 10% 増を目指す。
- ⑤成果指標2:売店、パン工房、レストラン、宿泊施設の客単価 100 円 増を目指す。
- ⑥引き続き、徹底した整理・整頓と在庫管理により、質の高い経営を実現し、対前年在庫圧縮率 10% を目指す。
- ⑦上記の取り組みにより、可能な限り経常利益の上乗せを目指す。

2) 部門別の売上目標と経常損益

グループ売上目標金額 4 億 5,700 万円、経常損益 1,500 万円

◆部門別売上目標と経常利益

部門	道の駅はが		道の駅みなみ波賀			産品加工所	フォレスト ステーション
	売 店	食 堂	売 店	パン工房	レストラン		
売上高	1,620 万円	590 万円	13,910 万円	3,320 万円	3,660 万円	5,030 万円	17,570 万円
経常損益	△70万円	95万円	555万円	230万円	100万円	120万円	470万円

報告第 8 号

播磨いちのみや株式会社令和 7 年度決算書及び令和 8 年度事業計画書等の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項及び地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第173条の5第1項の規定により、播磨いちのみや株式会社の令和 7 年度決算書及び令和 8 年度事業計画書等を提出する。

令和 8 年 7 月 16 日提出

宍粟市長 福 元 晶 三

第 27 期営業概況

第 27 期（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）の営業概況について、国道 29 号線を取り巻く営業環境は、交通量減少・若い世代の流出による労働力不足・少子高齢化・過疎化が加速し、年々厳しさを増しているのが現実です。

このような経営環境の中、会社の危機意識の徹底をはかり令和 5 年から令和 7 年 3 月まで 3 か年計画で“花と緑”道の駅構想 3 か年計画を進めてまいりました。3 か年の軌跡をご報告いたします。

“花と緑”道の駅構想 3 か年計画報告書

令和 5 年 6 月開催の定時株主総会において、“花と緑”道の駅構想 3 か年計画について取締役の皆様にお諮りし、構想を進めるにあたり経費を要することについても異議なくご賛同いただき、令和 5 年から令和 7 年までの 3 か年構想を進めさせていただきました。

令和 5 年、構想 1 年目店頭に咲き誇る藤の花からスタートし、6 月 7 月 8 月と希少種の花の苗を仕入れ、道の駅を花いっぱいにと進めましたが、夏の記録的猛暑に花は傷み、暑さの和らいだ 9 月 10 月 11 月ようやく秋の花々でお客様をお迎えすることができました。構想一年目、花と緑の管理・育成の難しさを痛感し、多年草・宿根草・暑さに強い品種・寒さに強い品種についての学びの年となりました。

そして、令和 6 年構想 2 年目、夏の暑さに負けない花づくりに挑み、植え替え・寄せ植えで水枯れを防ぎ、美しさが長く続くよう試行錯誤を繰り返し進めました。また、環境美化の取り組みだけでなく、前年の苦い経験がバックグラウンドとなり花々の特徴・育て方などをお客様にご説明させていただけるまでにスキルアップできた 1 年となりました。

構想 3 年目、令和 7 年は、道の駅播磨いちのみや“開業 25 周年を迎える年でもあり、春・夏・秋それぞれ 2 か月間の長丁場で 25 周年感謝祭イベントを開催させていただきました。

5 月、店頭に咲き誇る藤の花が圧倒的な存在感で多くのお客様を魅了し、施設全体の花と緑のバランスに、多くの称賛のお声を賜わり、6 月、芸能人のダイアン津田氏に当駅のソフトクリームの高評価 X 配信、引き続きご提供開始したメロンソフトクリームが SNS で拡散と、花と緑道の駅構想 3 か年計画最終年度、予想を上回る集客となりました。

道の駅の役割は、国土交通省により以下の3つの基本機能として定義されています。

休憩機能・情報発信機能・地域連携機能。近年では、これらに加え重要な社会基盤としての役割を担うようになり、地域防災の安心拠点としての防災拠点機能、そして、単なる「通過点」から「目的地」として人が集まる場所へ変化し観光・地方創生拠点の中核となっています。

“花と緑”道の駅構想3か年計画は、実行と定期的な振り返り、計画の軌道修正や改善を重ね、花・フルーツ・お食事と道の駅播磨いちのみやを「目的地」としてお客様に位置付けていただけるまでにバージョンアップできたと実感しております。

現在、植え替え3年年月を費やし大きな鉢花へと生育した花々が“花の駅播磨いちのみや”のシンボルとなり、多くのお客様をお迎えしくつろぎの時をお過ごしいただいております。

この3年の軌跡は、播磨いちのみやの今後の新たな取り組みの基盤となりました。

構想3か年の収支報告は、別紙のとおりです。

第27期各部門の業績は以下のとおりです。

物販部門においては、売上高は前年比112%の118,574千円、経常利益は7,938千円となりました。

レストランにおいては、売上高は前年比108%の25,024千円、経常利益は▲3,722千円となりました。

全社での経常利益は4,212千円という結果となり、前期2,568千円から1,644千円増益という結果となりました

詳しくは、次ページ決算報告書の通りです。

第 2 7 期

決 算 報 告 書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月 31日まで

播 磨 い ち の み や 株 式 会 社
(法人番号：6140001039365)

貸借対照表

代表者 野崎 美穂

令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産 (	25,657,863)	I 流 動 負 債 (	9,828,487)
現金及び預金	18,884,610	買掛金	2,945,610
売掛金	1,329,818	1年以内返済長期借入金	1,428,000
棚卸資産	4,020,751	未払法人税等	3,048,656
未立仮保貸	115,696	未払消費税	185,000
倒 替 証 引 当 金	555,706	預り	1,958,300
	429,955		262,921
	330,000		
	△ 8,673		
II 固 定 資 産 (	8,948,337)	II 固 定 負 債 (	5,736,356)
有形固定資産	8,898,337)	長期借入金	4,764,000
建物	7,406,833	長期未払金	972,356
構築物	636,618		
車両	1		
工具、器具及び備品	151,319		
建設費	6		
その他	703,560		
無形固定資産 (	0)	負債の部合計	15,564,843
投資その他の資産 (	50,000)	(純 資 産 の 部)	
出資	50,000	I 株 主 資 本 (	19,041,357)
		1. 資 本 金	20,000,000
		2. 資 本 剰 余 金 (	0)
		3. 利 益 剰 余 金 (△	958,643)
		(1)利 益 準 備 金	940,000
		(2)そ の 他 利 益 剰 余 金 (△	1,898,643)
		繰 越 利 益 剰 余 金 △	1,898,643
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等 (	0)
III 繰 延 資 産 (	0)	III 新 株 予 約 権 (	0)
資産の部合計	34,606,200	純資産の部合計	19,041,357
		負債・純資産の部合計	34,606,200

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
給料・手当	23,437,169
旅費	477,423
広告宣伝費	335,593
リース料	2,573,960
被服費	80,265
車両・メンテナンス費	750,805
保守・メンテナンス費	420,040
諸役員数報	2,110,428
賞与	6,480,000
法定福利費	530,000
福厚生費	3,689,688
減価償却費	65,784
施設使用料	766,195
修繕費	351,276
通信費	92,440
水道光熱費	1,084,531
租税公課	5,530,489
寄付金	31,520
接待交際費	69,515
保険料	246,414
備品消耗品費	454,855
環境衛生費	3,435,494
顧問料	2,449,956
貸倒償却	2,356,560
雑費	8,673
合 計	1,654,254
	59,483,327

棚卸資産の計算内訳

令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
商 品	4,020,751
合 計	4,020,751

株主資本等変動計算書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位: 円)

I 株 主 資 本			
1. 資 本	金		
	当期首残高		20,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		20,000,000
2. 利 益 剰 余 金	金		
(1) 利 益 準 備 金	金		
	当期首残高		940,000
	当期変動額		0
	当期末残高		940,000
(2) そ の 他 利 益 剰 余 金	金		
繰 越 利 益 剰 余 金	金		
	当期首残高		-5,704,322
	当期変動額		
	当期純利益	3,805,679	3,805,679
	当期末残高		-1,898,643
そ の 他 利 益 剰 余 金 合 計			
	当期首残高		-5,704,322
	当期変動額		
	当期純利益	3,805,679	3,805,679
	当期末残高		-1,898,643
株 主 資 本 合 計			
	当期首残高		15,235,678
	当期変動額		
	当期純利益	3,805,679	3,805,679
	当期末残高		19,041,357
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
III 新 株 予 約 権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純 資 産 の 部 合 計			
	当期首残高		15,235,678
	当期変動額		
	当期純利益	3,805,679	3,805,679
	当期末残高		19,041,357

個 別 注 記 表

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、取得価額30万円未満の資産については、取得時に費用処理しております。

(2)リース資産

法人税法の規定に基づくリース期間定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

II. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

20,739,402円

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

400株

IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、47,603.39円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、9,514.19円であります。

以 上

レストランのリブート構想 2 か年計画

レストランの世界観や設定をリセットし、最初から仕切り直す構想を令和 8 年 6 月から 2 か年計画で開始させていただきます。

1・クーリングシェルター・ウオームシェアとしての転換

夏は、(クーリングシェルター・指定暑熱避難施設) 熱中症対策として冷房を開放する避難所として。

冬は、(ウオームシェア・地球温暖化防止対策) 暖房を共有し家庭や地域のエネルギー消費を抑える取り組みとして。

令和 8 年 5 月、宍粟市危機管理課にレストランをクーリングシェルターとして申請するための申し込みをさせていただきました。

ランチタイムのみの営業としてきたレストランをランチタイム以外の時間帯を地域の皆様、ご来訪者の皆様に開放する取り組みです。

2・レストランのセルフサービス化

人手不足解消・人件費削減のため、セルフサービスへの転換へ。

セルフサービスの為の形状変更工事が必要となり、工事期間中は、レストラン休業とさせていただきます。

3・メニュー構成の見直し

中東情勢を踏まえ、食材原価高騰をみすえたメニューの見直しとセルフサービスに対応できる新たなメニュー開発を進める。

試行錯誤は、必要であり構想 2 か年の時間を要します。

4・レストランの在り方

観葉植物を取り入れ、テータイムもごゆるりとお過ごしいただける地域のコミュニティとして、長旅の疲れを癒せる場としてリブートしてまいります。

このリブート構想 2 か年計画を進めるにあたり、形状変更工事等経費を要しますが、刻々と変化し続ける飲食業界は、今後 2 か年期間中も変化し続けると考えます。

この状況を乗り切るための初期投資は不可欠とリブート構想を立ち上げさせていただきますと考えます。

科目別予算

2026/07/02

(10:07:55)

2026年04月～2027年03月

P 1/3

(単位：千円)

勘定科目	2026年04月	2026年05月	2026年06月	2026年07月	2026年08月	2026年09月	2026年10月	2026年11月	2026年12月	2027年01月	2027年02月	2027年03月	年計
(4111)商品売上高	8,000	7,700	7,900	12,000	22,720	14,700	11,740	12,370	8,400	7,370	5,300	6,800	125,000
(A)商品売上高	8,000	7,700	7,900	12,000	22,720	14,700	11,740	12,370	8,400	7,370	5,300	6,800	125,000
(B)自動販売機売上高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(C)その他商品売上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(D)D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(Z)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4112)レストラン売上高	1,700	1,800	1,400	2,000	3,200	1,800	1,600	2,200	1,100	1,200	800	1,200	20,000
(A)レストラン売上高	1,700	1,800	1,400	2,000	3,200	1,800	1,600	2,200	1,100	1,200	800	1,200	20,000
(B)野菜ジュース・ドレッシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(C)宴会等飲食売上高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(Z)コーヒーマシン売上高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4113)温泉・宿泊等売上高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)入湯売上高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(B)割引回数券売上高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(C)タオル貸出し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(D)マッサージ売上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(E)その他委託売上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(Z)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4114)業務委託収入等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)タオル貸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(B)マッサージ売上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(C)マッサージ機使用売上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(D)その他委託収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(Z)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4115)売上値引戻り高 ()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4000)純売上高	9,700	9,500	9,300	14,000	25,920	16,500	13,340	14,570	9,500	8,570	6,100	8,000	145,000
(5111)期首棚卸高	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020
(A)商品	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081
(B)食材	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939
(Z)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5211)商品仕入高	4,960	4,790	4,900	7,450	14,090	9,100	7,280	7,670	5,200	4,570	3,290	4,200	77,500
(A)一般商品仕入高	4,960	4,790	4,900	7,450	14,090	9,100	7,280	7,670	5,200	4,570	3,290	4,200	77,500
(B)地域特産品仕入高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(C)委託商品仕入高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(Z)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5212)材料仕入高	595	630	490	700	1,120	630	560	770	385	420	280	420	7,000
(5215)自動販売機仕入高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5216)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5213)仕入値引戻し高 ()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5100)当期製品製造原価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5273)他勘定振替高 ()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5311)期末棚卸高 ()	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020

04804/006

播磨いちのみや 株式会社

T K C V202606tfa

勘定科目	2026年04月	2026年05月	2026年06月	2026年07月	2026年08月	2026年09月	2026年10月	2026年11月	2026年12月	2027年01月	2027年02月	2027年03月	年計
(A)商品	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081	3,081
(B)食材	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939	939
(Z)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5200)当期売上原価	5,555	5,420	5,390	8,150	15,210	9,730	7,840	8,440	5,585	4,990	3,570	4,620	84,500
(5000)売上総利益	4,145	4,080	3,910	5,850	10,710	6,770	5,500	6,130	3,915	3,580	2,530	3,380	60,500
(6111)給料・手当	1,800	1,800	1,550	1,900	2,150	1,850	2,100	1,850	1,750	1,450	1,150	1,450	20,800
(6311)臨時従業員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6112)旅費交通費	37	41	51	37	31	36	45	69	15	12	38	59	471
(6113)広告宣伝費	88	7	1	32	3	0	35	0	0	0	3	91	260
(6114)リース料	193	225	193	180	147	206	218	206	247	212	217	250	2,494
(6115)被服費	19	0	0	0	0	0	0	0	7	15	9	6	56
(6116)車両経費	54	65	31	43	205	37	62	88	35	0	35	82	737
(6117)保守・メンテナンス費	18	21	58	18	18	18	18	18	58	18	18	13	294
(6118)諸手数料	85	68	154	206	374	480	272	253	110	81	55	83	2,221
(6211)役員報酬	540	540	540	540	540	540	540	540	540	540	540	540	6,480
(6232)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6212)出向人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6213)賞与	0	0	0	0	0	0	0	0	450	0	0	0	450
(6312)法定福利費	195	210	197	465	273	264	334	276	275	278	274	205	3,246
(6226)福利厚生費	0	0	0	5	8	0	11	13	0	25	0	4	66
(6119)退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6214)減価償却費	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	168	762
(6234)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6215)施設使用料	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
(6216)修繕費	0	0	0	92	0	0	0	0	0	0	0	0	92
(6217)アドバイス料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6218)通信費	34	28	50	73	119	147	223	129	66	90	60	53	1,072
(6219)水道光熱費	406	412	399	485	535	615	498	382	440	414	338	352	5,276
(6221)租税公課	0	0	0	0	0	0	66	11	0	0	1	1	79
(6222)寄付金	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
(6223)接待交際費	30	1	10	7	10	19	69	0	24	2	0	35	207
(6224)保険料	24	24	24	24	24	66	24	125	45	24	24	24	452
(6225)備品消耗品費	321	196	202	381	373	297	250	442	258	173	119	102	3,114
(A)消耗品	321	196	202	381	373	297	250	306	258	173	119	102	2,978
(B)備品台帳	0	0	0	0	0	0	0	136	0	0	0	0	136
(Z)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6227)諸負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6228)環境衛生費	446	241	72	80	62	124	108	63	157	75	132	187	1,747
(6229)送迎委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6313)顧問料	200	540	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,740
(6233)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6314)貸倒償却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8

(単位：千円)

[illegible]

報告第 9 号

有限会社伊沢の里令和 7 年度決算書及び令和 8 年度事業計画書等の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の 3 第 2 項及び地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第173条の 5 第 1 項の規定により、有限会社伊沢の里の令和 7 年度決算書及び令和 8 年度事業計画書等を提出する。

令和 8 年 7 月 16 日提出

宍粟市長 福 元 晶 三

第 30 期 事業報告

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

<概 況>

令和 7 年度は、宿泊・飲食ともに前年をやや上回る集客および売上を計上いたしました。

売上高は前年比 7.2%増となり、限界利益も 6.5%改善いたしました。

また、昨年度から続いていた浴室用配管の老朽化による漏水が解消されたこともあり、

資材・食材・燃料等の価格高騰の影響を受けながらも、経常利益は 1,042 千円を計上いたしました。

<施設利用状況>

1. 宿泊部門

平日の稼働率向上を図るため、ビジネス利用客の取り込みを継続しました。

人気のアラカルトプランおよび朝食付きプランを中心に販売を行い、集客の強化を図りました。

観光目的の宿泊利用は少ないものの、パワースポット来訪者や、宍粟市与位地区にあるアウトドア・体験型施設「レイビレッジ」の利用者による宿泊需要を取り込むことができました。また、夏季には子ども向けスポーツ合宿の利用が増加し、一定の集客を確保することができました。

3 期比較客室稼働率

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
5 年度	78%	73%	65%	79%	86%	77%
6 年度	78%	81%	70%	78%	84%	83%
7 年度	80%	73%	75%	77%	90%	76%
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
78%	90%	82%	57%	75%	74%	76%
81%	84 %	73%	71%	70%	80%	78%
87%	91%	84%	70%	83%	86%	81%

6 年度定員稼働率（月間宿泊者数/月間収容人数）

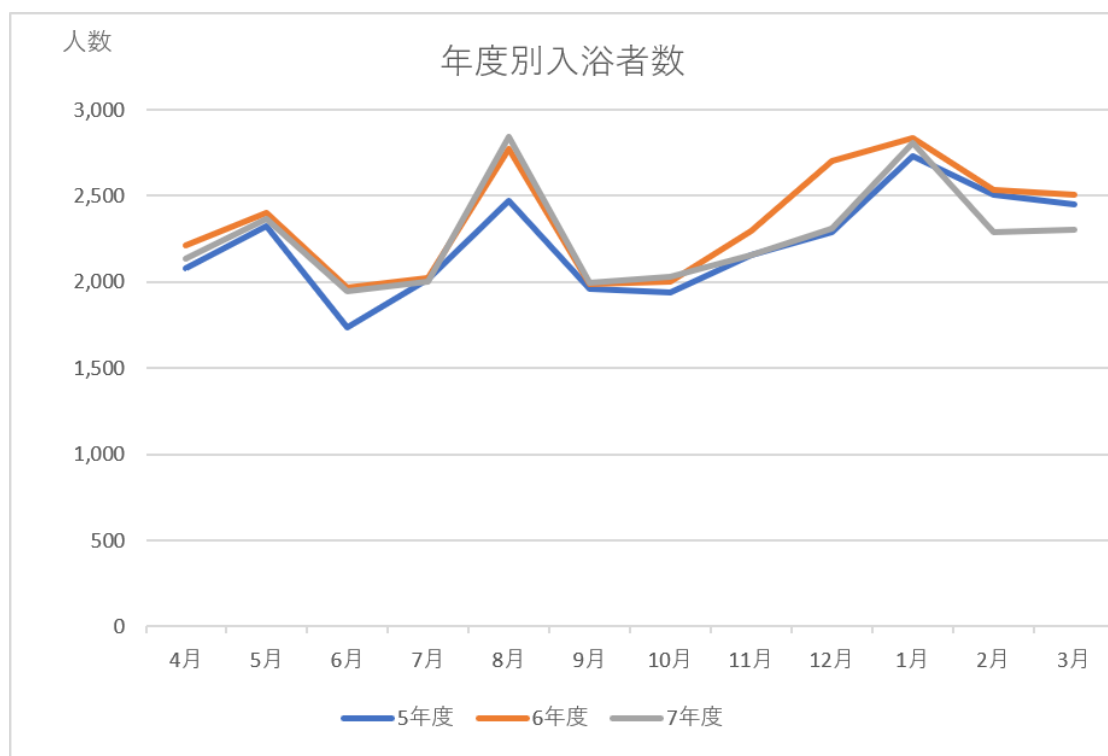
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
5 年度	32%	31%	25%	33%	46%	28%
6 年度	31%	34%	27%	33%	45%	32%
7 年度	32%	30%	30%	33%	49%	30%
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
32%	34%	35%	28%	34%	36%	31%
29%	48%	34%	32%	32%	35%	34%
37%	39%	36%	31%	34%	34%	35%

2.入浴部門

日帰り入浴施設として、市民の憩いの場の提供に努めました。

利用者数は寒冷期に増加する傾向があり、さつきマラソンなどの地域イベント開催時や夏季には、アウトドア利用者の来館により利用が伸びました。

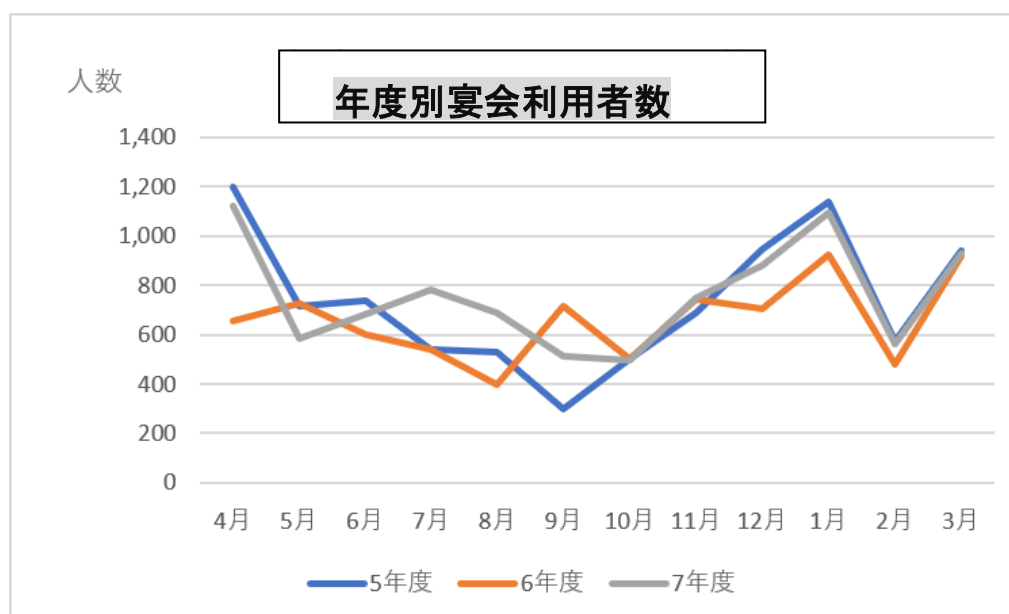
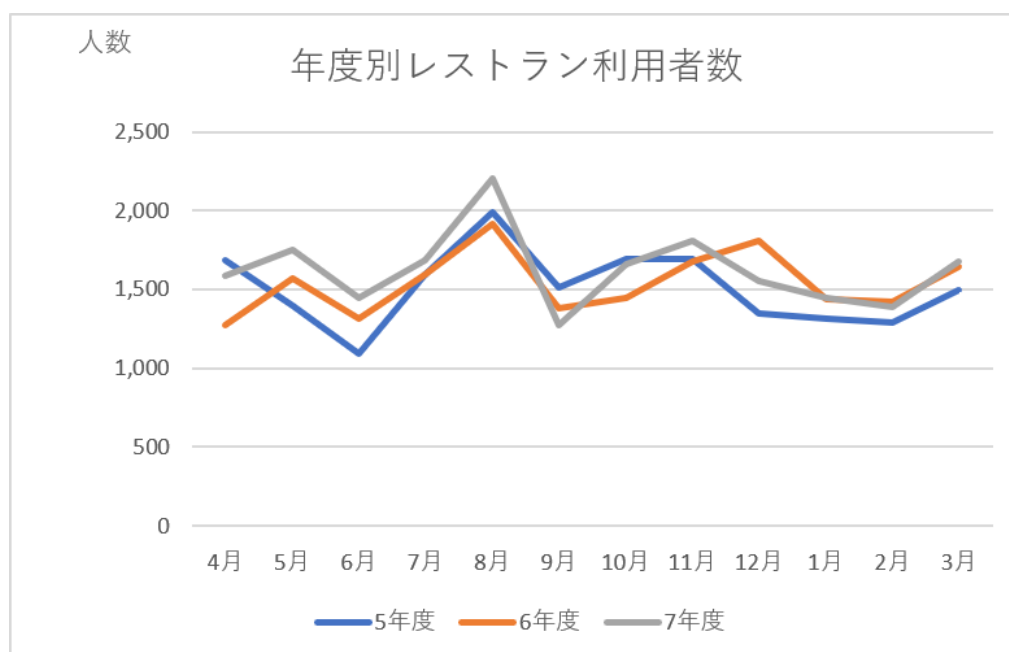
また、常連利用者による回数券の利用に加え、月間パスポートについても常時 8 名程度の利用があり、継続的な来館につながっております。



3.飲食部門

飲食部門では、宿泊客およびレストラン利用者への食事提供に加え、地域住民の利用促進に努め、各種会合や宴会、法要後の会食などにも対応し、売上の確保を図りました。

テイクアウト事業については、旬彩蔵での販売を中心に堅調に推移しました。さらに、製菓会社向け高級弁当（シークリー）受注にも対応し、売上の確保と販路拡大に努めました。



第 3 0 期

決 算 報 告 書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月 31日まで

◁

有 限 会 社 伊 沢 の 里
(法人番号：3140002032512)

貸借対照表

代表者 富田 健次

令和 8年 3月31日現在

(単位: 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産 (	66,177,029)	I 流 動 負 債 (	16,266,254)
現 金 及 び 預 金 (	60,884,252)	買 掛 金 (	2,961,442)
売 掛 金	2,518,490	一 下 未 払 金	217,058
棚 卸 資 産	1,815,099	未 払 金	7,505,207
前 払 費 入	24,156	未 払 法 人 税 等	481,870
未 立 仮 貸 倒 引 当 金	621,542	未 払 消 費 税 等	185,000
	178,730	未 預 り 受 引 当 金	3,473,400
	148,615	賞 与 引 当 金	126,277
△	13,855		516,000
			800,000
II 固 定 資 産 (	9,562,504)	II 固 定 負 債 (	35,181,639)
有 形 固 定 資 産 (	8,287,174)	長 期 借 入 金	25,213,000
建 構 物	1,065,655	長 期 未 払 金	9,968,639
機 械 及 び 装 置	30,882		
車 両 運 搬 具	2		
工 具 、 器 具 及 び 備 品	4		
建 物 附 属 設 備	151,673		
リ ー ス 資 産	310,168		
	6,728,790		
		負 債 の 部 合 計	51,447,893
無 形 固 定 資 産 (	1,172,340)	(純 資 産 の 部)	
ソ フ ト ウ ェ ア	422,500	I 株 主 資 本 (	24,291,640)
電 話 加 入 権	749,840	1. 資 本 金	20,000,000
		2. 資 本 剰 余 金 (	0)
投 資 そ の 他 の 資 産 (	102,990)	3. 利 益 剰 余 金 (	4,291,640)
出 資	42,200	(1)利 益 準 備 金	1,400,000
リ サ イ ク ル 預 託 金	55,290	(2)そ の 他 利 益 剰 余 金 (	2,891,640)
長 期 前 払 費 用	5,500	別 途 積 立 金	33,000,000
		繰 越 利 益 剰 余 金 △	30,108,360
III 繰 延 資 産 (	0)	II 評 価 ・ 換 算 差 額 等 (	0)
		III 新 株 予 約 権 (	0)
資 産 の 部 合 計	75,739,533	純 資 産 の 部 合 計	24,291,640
		負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	75,739,533

損 益 計 算 書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				金 額		
I	売 指 入	上 定 管 売 上	高 高 料 高 高	32,332,483 14,318,183 77,846,633 16,846,875	141,344,174	141,344,174
II	売 期 商 合 期 売	上 首 品 未 上	原 棚 仕 棚 卸 入 卸 利	33,985,868	1,620,017 33,985,868 35,605,885 1,637,984	33,967,901 107,376,273
III	販 販 営	費 費 業	及 及 一 般 利	106,151,939	106,151,939	1,224,334
IV	営 受 受 雑	業 取 取	外 配 収	33,770 1,200 1,680,187	1,715,157	
V	営 支 雑	業 払 利	外 息 損	194,899 1,704,372	1,899,271	
	経	常	利			1,040,220
VI	特 貸 倒	別 引 当	利 金 戻 入	1,931	1,931	
VII	特 特	別 別	損 損	0	0	
	税 引 前 当 期 純 利 益	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	当 期 純 利 益	185,000	1,042,151 185,000	857,151

<

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで
(単位：円)

科 目				金 額
給 与	手 当			46,145,792
旅 費	交 通			78,826
広 告	宣 伝			936,362
運 搬				1,292
支 払	手 数			9,524,181
退 職	職 金			368,000
雑 業	員 給			1,871,257
従 業	員 賞			1,939,000
福 利	厚 生			54,350
法 定	福 利			4,305,270
減 価	償 却			1,629,370
賃 借	料			24,400
修 繕	費			1,800,797
一 入	料			2,624,385
通 信	費			430,920
水 道	熱 費			19,649,222
租 税	課 金			225,808
寄 待	付 公			15,564
接 交	際 費			151,090
保 険	料			346,824
備 品	消 耗			5,115,124
管 理	諸 費			765,000
諸 会	費			104,600
燃 料	費			5,747,730
雑 費				2,296,775
合 計				106,151,939

棚 卸 資 産 の 計 算 内 訳

令和 8年 3月31日現在
(単位：円)

科 目			金 額
商 品			1,637,984
貯 蔵	品		177,115
合 計			1,815,099

伊沢の里

令和 8 年度事業計画

近年、観光需要は回復傾向にあり、国内旅行を中心に人の流れが戻りつつあります。また、インバウンド需要についても徐々に回復の動きが見られています。一方で、エネルギー価格の変動や物価高騰、人手不足など、宿泊・飲食業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。

そのような中、中央市の指定管理施設として地域に根ざした公共の宿泊施設としての役割を果たしながら、持続可能な運営とサービスの向上に努めてまいります。また、地域住民と観光客双方に利用される施設として、地域交流の拠点となるよう事業運営を進めます。

<宿泊部門>

売上目標 25,500 千円

「ほっと、ひといき」の気取らない宿として、安心して快適に滞在していただける宿泊施設を目指します。

引き続きハイシーズンとオフシーズンの価格設定を見直し、適正な収益確保に努めます。特に平日やオフシーズンの稼働率向上が重要であるため、ビジネス客の利用促進や長期滞在の需要取り込みを図ります。

また、観光需要の回復を背景に、インバウンド旅行者の受入れにも対応し、地域観光と連携した宿泊プランの充実を進めてまいります。

<入浴部門>

売上目標 16,500 千円

指定管理料 13,545 千円

地域住民にとって身近な入浴施設として、利便性と快適性の向上を図り、リピーターの確保に努めます。

季節イベントや地域行事と連動した利用促進を行い、入浴利用の拡大を図ります。

また、設備の老朽化が課題となっているため、市と協議しながら計画的な修繕・更新を進め、安全で安心して利用できる施設環境の維持に努めます。

＜飲食部門＞

営業収益目標 75,000 千円

(レストラン 25,000 千円 テイクアウト 14,000 千円 宴会 36,000 千円)

飲食部門では、宴会需要の確保を中心に、忘年会・新年会・歓送迎会・法要など地域の会合の利用促進に努めます。

特に平日の利用拡大が重要であるため、シニア層を中心とした同窓会や自治会、地域団体への営業活動を継続します。

また、テイクアウト事業も引き続き推進し、宴会やレストラン利用が少ない時期にも売上を確保できる体制づくりを進めます。

＜ふるさと工房・ふるさと広場部門＞

営業収益目標 700 千円

指定管理料 2,500 千円

そば打ち教室など既存の体験事業を継続するとともに、地元生産者と連携した地域食材を活用した体験型イベントの開催を検討します。

また、グラウンドゴルフ利用者の増加に対応し、芝生管理や清掃など環境整備を継続します。利用者が施設内の飲食や宿泊にもつながるよう、関連プランの充実を図ります。

利用者目標

地域住民の利用と観光客の利用の両方をバランスよく確保し、施設全体の利用者数の増加を目指します。宿泊・入浴・飲食の各部門が相互に利用を促進することで、施設全体の利用満足度向上に努めます。

利用者目標(年間)

宿泊利用者 約 5,400 人

日帰り入浴利用者 約 27,000 人

レストラン利用者 約 24,000

宴会利用者 約 5,000 人

宿泊利用者の増加を図るとともに、日帰り利用者を飲食や売店利用へつなげる取り組みを行います。

地域連携の取り組み

指定管理施設として地域との連携を重視し、地域住民に親しまれる施設運営を行います。

地元生産者や事業者との連携による地元食材の活用や地域特産品の販売を進めます。また自治会や各種団体の会合、地域イベントなどでの利用を促進し、地域交流の拠点としての役割を果たします。

さらに、グラウンドゴルフや体験教室など地域住民が気軽に参加できるイベントを継続し、施設利用の機会拡大を図ります。

取り組みの一つとして、地域の生産者や事業者の販売機会の創出と地域交流の促進を目的に、月 1 回程度、施設駐車場等を活用した朝市の開催を検討します。

朝市では地元農産物や加工品、地域特産品などの販売を行い、地域の魅力発信と地元産品の消費拡大を図ります。また来場者が施設内の入浴や飲食利用にもつながるよう、施設利用との連携を図ります。

施設維持管理

施設の老朽化が進んでいるため、安全で快適な施設環境を維持することを重要な課題として取り組みます。

日常点検や定期点検を徹底し、設備の異常を早期に発見し対応することで事故防止に努めます。また必要な修繕については宍粟市と協議しながら計画的に実施し、長期的な施設維持に努めます。

特に電気設備については設置から約 30 年が経過しているため、**高圧受電設備(キュービクル)の更新**を計画し、安全で安定した電力供給体制の確保を図ります。

また入浴施設の衛生管理を維持するため、**浴槽ろ過機 1 台の更新**を予定しており、利用者が安心して入浴できる環境の維持に努めます。

さらに、外構についても樹木の老朽化により枯れや枝の伸長が見られる箇所があるため、景観の維持と安全確保の観点から剪定や必要に応じた植え替えを検討し、職員による対応を基本として計画的に実施していきます。

館内および客室の清掃や衛生管理についても徹底し、宿泊施設および入浴施設として利用者が安心して快適に利用できる環境づくりを行います。

利用者サービス向上

利用者アンケートや意見を参考にサービス改善を行い、満足度の向上に努めます。

接客マナーの向上や従業員教育を継続し、地域に親しまれる施設として安心して利用していただける接客を心がけます。

またホームページや SNS などを活用し、施設の情報発信を行い利用促進につなげます。

令和8年度収支予算計画(自主事業・指定管理業務)

第31期(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

商号: 有限会社 伊沢の里

(千円・税抜)

勘定科目名			7年度予算	8年度予算	差引額	備 考
営業 収益	1	宿泊・休憩売上高・工房収入	30,000	31,000	1,000	宿泊料25,000 休憩・会議使用料500 売店4,800 工房収入700
	2	指定管理料	14,318	16,045	1,727	入浴施設 11,818 ふるさと工房 2,500
	3	レストラン・宴会売上高	73,000	75,000	2,000	レストラン 25,000 テイクアウト 14,000 宴 会 36,000
	4	入浴・物販売上高	17,000	16,500	-500	入浴料14,500 物販(アメニティ、売店) 2,000
純売上高			134,318	138,545	4,227	
売上 原価	5	宿泊・休憩	3,150	3,200	50	部屋菓子200 アメニティ150 売店2,800
	6	レストラン・宴会	26,000	27,000	1,000	各業者仕入
	7	入浴	2,200	2,200		アメニティ 200 ボディソープ・シャンプー 200 売店 1,800
売上原価			31,350	32,400	1,050	
売上総利益			102,968	106,145	3,177	
販売費及び一般管理費	8	給与手当	47,000	47,000		従業員25名
	9	旅費交通費	50	70	20	
	10	広告宣伝費	800	900	100	広告・看板 パンフレット 入浴券、宿泊券 礼状DMその他
	11	運賃	5	5		
	12	支払手数料	7,900	8,500	600	自動ドア保守 ボイラー保守 エレベーター保守 電気管理 インターネット予約関連
	13	退職金	480	450	-30	中小企業退職金共済加入
	14	雑給	1,350	1,550	200	単発アルバイト、業務委託
	15	従業員賞与	2,450	2,250	-200	従業員25名
	16	福利厚生費	100	100		健康診断 置き薬 制服
	17	法定福利費	4,100	4,100		社会保険
	18	減価償却	2,000	1,800	-200	車両 機械・装置建物
	19	賃借料	24	24		看板設置敷地料
	20	修繕費	2,000	2,000		ポンプ エアコン 他
	21	リース料	3,200	3,200		リネン関係(宿泊、入浴) コピー機 会計ソフト・システム 他
	22	通信費	450	450		電 話 代 切手 インターネット他
	23	水道光熱費	19,000	19,500	500	電気料金 水道料金
	24	租税公課	220	220		自動車税 車検重量税 印紙税他
	25	寄付金	7	15	8	
	26	接待交際費	150	150		中元歳暮他
	27	保険料	325	330	5	自動車共済 損害保険 建物共済 他
	28	備品・消耗品費	4,000	4,500	500	宿泊関係 入浴関係
	29	管理諸費	800	800		稲田会計事務所 会計顧問料他
	30	諸会費	120	120		商工会費・防火協会費・社会保険協会費・観光協会費・納税協会
	31	燃料費	5,600	6,100	500	重油・ガソリン・ペレット代
	32	雑費	2,000	2,000		ろ過配管循環洗浄 工房 新聞代他
販管費合計			104,131	106,134	2,003	
営業利益			-1,163	11	1,174	
営業外収益			1,500	1,300	-200	リラクゼーション 自販機・マッサージ機他 助成金
営業外費用						
経常利益			337	1,311	974	

報告第10号

公益財団法人しろう森林王国観光協会令和7年度決算書及び令和8年度事業計画書等の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項及び地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第173条の5第1項の規定により、公益財団法人しろう森林王国観光協会の令和7年度決算書及び令和8年度事業計画書等を提出する。

令和8年7月16日提出

宍粟市長 福 元 晶 三

令和 7 年度

公益財団法人しろう森林王国観光協会
事 業 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

公益財団法人しろう森林王国観光協会

事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

I 公益目的事業会計

公1 森林と共生する観光地域づくり

宍粟市が誇る森林をはじめとする豊かな地域資源を保全するとともに、それらを活用して交流人口の増加を促し、観光による地域づくりを推進する。

1 地域資源の発掘・保全・育成事業

森林をはじめとする豊かな地域資源を保全・育成するため、次の事業を実施した。

(1) 自然資源の保全事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
宍粟 50 名山登山ルート周辺管理事業	宍粟 50 名山を訪れる登山者の安全を確保するため、登山ルートの現状を調査し、必要に応じ登山道の整備や案内板を設置する。	- 登山ルートの現状調査 宍粟 50 名山ガイドクラブへ委託 調査結果を HP 等で周知 - 登山ルートの整備 定期調査による草刈・倒木処理 (50 山+5 山) - 登山口ポールの確認 - 登山ポールの取替	

(2) 観光資源の保全事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
フラワーロード事業	市街地の景観を創出するため、フラワーロード (5ヶ所) の管理を行う。	フラワーロード (5ヶ所) の花壇を地元団体へ委託し管理した。 門前花壇……門前老人クラブ 山田花壇……山崎東老人クラブ 八重谷花壇……土万老人クラブ 鹿沢花壇……東鹿沢自治会 山崎南インター花壇……城下第3老人クラブ	

2 自然とのふれあい等による交流促進事業

地域資源を生かした様々なイベントの開催や自然学習・体験学習の実施などを通じ、自然保護への理解を深めるとともに人と人の交流を促進するため、次の事業を行う。

(1) 自然とのふれあい事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
宍粟 50 名山登山事業	豊かな自然資源のひとつである「山」を基軸とした活動を実施する。	宍粟 50 名山ふれあい登山会の開催 春 第1回 (4月19日) 場 所: 国見山 参加者 17 名 第2回 (5月25日) 場 所: 氷ノ山 参加者 31 名 秋 第3回 (10月12日) 場 所: 岩谷山～五蔵山 参加者 20 名 第4回 (11月23日) 場 所: 笹の丸 参加者 11 名 ファンクラブ限定登山会 第1回 (6月22日) 場 所: 東山～五蔵山 参加者 25 名 第2回 (11月2日) 場 所: 三室山～竹呂山 参加者 37 名	

		・岡山県と交流登山会の開催 日 時：6月7日 場 所：船木山～駒の尾山 参加者 52名 ・宍粟50名山冬山登山会 第1回（1月21日） 場 所：三国平～天児屋山 参加者 15名 第2回（1月25日） 場 所：東山 参加者 7名 第3回（2月1日） 場 所：赤谷山 参加者 12名 ・GoTo 宍粟50名山+別選5名山～山頂フォト～ 山の日（8月2日～24日） 応募 354件、124名 秋（10月22日～11月24日） 応募 381件、123名 ・氷ノ山バスツアー（神姫観光） 登山ガイド派遣 10月22日 参加者 17名 10月25日 参加者 17名 10月26日 参加者 12名 [2025年度ファンクラブ会員数] 個人会員 103名 家族会員 16組(32名)	
森林セラピー事業	森の持つ「癒し効果」を活用して、市民・県民の健康づくり及び企業等のメンタルヘルスに寄与した森林セラピー事業を展開する。	森林セラピーの実施 71日・695名 赤西 26日・176名 東山 9日・143名 国見 36日・376名 ・一般申込 実施状況 44回・170名 （赤西17回61名、東山5回26名、 国見22回83名） ・HP掲載イベント 実施状況 実施なし ・学校・団体・旅行社 実施状況 16回・443名 （赤西6回102名、東山2回101名、 国見8回240名） ・関係団体（市営業部・TOPPAN 健保） 実施状況 9回・76名 （赤西1回7名、東山2回16名、 国見6回53名） ・取 材・視 察：赤西1回・4名 （サンテレビ取材） ・その他 赤西1回・2名 （スノーシューセラピー） ・森林セラピーソサエティ全国ネットワーク会議 【総会及び研修会】 7月14日～15日 会場：東京都（全国町村会館） 1日目 総会 研修会 交流会 2日目 基地担当者研修会 癒しの森ガイドの会 ・総会3月21日 22名出席（委任出席9名） 欠席 3名 ・運営委員会 4回開催 ・国見ロード整備の下見 12月21日 ・PR活動（ストレスチェック） 5月28日 大阪・関西万博 76名 9月23日 国見まつり 71名 11月24日 最上山もみじまつり 109名	

		・旅行社・森林大学・企業との連携 TOPPAN 健保研修、神姫観光ツアー、 市営業部モニターツアー、県市町村職員共済 組合、森林大学校、山の学校、宍粟市商工会、 兵庫県学校厚生会西播支部 他受入 ・その他 赤西基地の山開き・山じまい 他 宍粟市ふるさと納税品目に認定 豊中市マチカネポイント対象事業 ひょうごフィールドパビリオン認定 宍粟癒しの森ガイドの会の設置・運営 会員数 34 名 セラピーバイクの実績 ・活動日 3 日 参加 8 名	
最上山もみじ祭り事業	最上山公園もみじ山において、紅葉の盛期に観光客をおもてなしするとともに、各種団体と連携しまち歩きイベント等を実施する。	・最上山もみじ祭りの開催 開催日 11 月 15 日～11 月 30 日 会 場 最上山公園もみじ山登り口広場 他 来場者 45, 562 人 (推計) 内 容 来場者への観光(臨時)駐車場設置 しそ酒蔵通り (食と地酒でおもてなし) Yamasaki 商店街ウォーク[秋色祭り] 宍粟 de 朝市 (連合商店街) もみじ喫茶 (もみじ山山頂) 宍粟山崎手作り甲冑の会 やまさきまち歩きガイド よいまち市 (旧山崎幼稚園 園庭) 観光駐車場 4,764 台 その他駐車場 3,317 台 (バス含む) ※インターネット上の関西エリアでは、どのサイトでも上位にランクされている。	

(2) 地域資源活用事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
たたら製鉄体験事業	宍粟の重要な地域資源である「たたら」の魅力を PR するため、たたら製鉄を体験できるイベントを開催する。	・たたら製鉄体験イベント イベントの開催なし	
千年藤まつり事業	大歳神社「千年藤」の開花時期において藤まつりを開催し、観光客の増加を図る。 また、各種団体と連携しまち歩きイベント等を実施する。	・藤まつりの開催 開催日 4 月 26 日～5 月 4 日 会 場 大歳神社、山崎連合商店街 他 来場者 12,922 人 (推計) 内 容 来場者への観光(臨時)駐車場設置 千年藤ライトアップ 山崎ウォーキング&ウォッチ Yamasaki 商店街ウォーク[藤色祭] まち歩きガイド ふじの花喫茶&マーケット 屋台出店・社務所舞台解放 観光駐車場 2,590 台 その他駐車場 748 台 (バス含む)	

(3) 森林文化の普及啓発事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
観光 PR 事業 (市外観光 PR 事業)	市外で開催されるイベント等へ参画し、宍粟の魅力を PR する。 また、阪神間での知名度の向上を図るため、宍粟オリジナルのイベントを開催する。	【市外イベントへの参画】 姫路お城まつり、佐用ひまわり祭り、アグロイベントに、ブランドアンバサダー派遣 【市内イベントへの参画】 三笑蔵出し式、さつきマラソン大会、藤まつり、市民ゴルフ大会、宍粟 50 名山ふれあい登山会、まるはり×みたい取材、シソイチ RIDE、サンテレビ取材（登山会）、FM GENKI 取材（国見の森公園）、妙見夏まつり、くにみまつり、STS しそう氷ノ山大会、チャリティゴルフ大会、夢マルシェ、伊沢の里ふれあい文化祭、最上山もみじ祭り、牡蠣祭り、ちくさ高原雪まつりに、ブランドアンバサダー派遣 【主催イベント】 ・宍粟市 PR 活動 日 時 8 月 31 日 場 所 アグロガーデン神戸駒ヶ林店 内 容 ・ブランド認証品販売 ・鮎の塩焼き販売 ・おたのしみ抽選会 ・観光 PR・CM 動画放映 ・観光パンフレット等配付 しそうブランドアンバサダー 1 名 ・ひょうごフィールドパピリオンフェスティバル 2025 日 時 5 月 28 日 場 所 万博会場 内 容 森林セラピー、セラピーバイク ・ストレスチェック 参加者 75 名 ・VR 動画体験 参加者 100 名	
観光 PR 事業 (インターネット等活用事業)	ホームページを通じて、宍粟に関する最新の情報をタイムリーに提供する。	・ホームページの常時更新 ・Instagram による情報発信	
観光 PR 事業 (多目的プロモーションカー活用事業)	宍粟市が所有する「多目的プロモーションカー」を活用して、宍粟市の PR 活動を行う。	・利用実績 16 イベント うち市内での活用 16 回 市外 0 回	
観光 PR 事業 (日本酒発祥の地・発酵のまちづくり事業)	「日本酒発祥の地・発酵のふるさと 宍粟」を PR し、日本酒および発酵文化の普及と交流人口の増加を図る。	「まぼろしの酒三笑」蔵出式 日 程 4 月 10 日 場 所 庭田神社 (宍粟酒蔵通り商店街)	
しそうブランドアンバサダー設置事業	しそう森林王国女王の後継役として「しそうブランドアンバサダー」を設置し、森林王国のイメージアップを図るとともに、市内外のイベント等へ参画し、森や水の大切さを PR する。	・しそうブランドアンバサダーの設置 2 名 上山 奈都実 (宍粟市) 橋元 稚子 (姫路市) ・イベント等への参画による PR 活動 回数 24 回 延べ 42 名	
フォトコンテスト事業	宍粟の魅力を再発見するとともに、入賞作品を各所で展示し、宍粟の魅力を PR する。	・フォトコンテストの開催 2 カ年に渡って作品を募集 プリント部門 (募集締切 令和 8 年 1 月 25 日) 124 件 36 名	

ボランティア活動推進事業	森林王国の活動への参加を通じて、より多くの人に森林文化への理解を深めてもらう。	・ボランティア活動への支援 やまさまち歩きガイドの会ボランティア活動支援（負担金）	
--------------	---	--	--

3 観光地域づくりのための特産品開発等の調査・研究事業

観光による地域づくりを推進するためのさまざまな調査・研究を行う。特に、宍粟の産品を活用した「食」の観光資源化に向けた研究開発を図るため、次の事業を行う。

（1）特産品開発事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
食のブランド化推進事業	宍粟の産品を活用した魅力ある「食」を研究開発し、来訪者の増加を図る。	・第7次特産品ブランド認証品更新 新規認定商品 8品目 6事業者 R8.5末現在 39品目	

4 観光地域づくりを担う人材育成に関する事業

宍粟の魅力を再発見することにより、地域に対する誇りや愛着心を醸成するとともに、そうした地域資源の活用方法等を研修することにより、新しい地域づくりの担い手を育成するため、次の事業を行う。

（1）人材育成のための研修事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
観光地域づくり事業	事業者や市民、行政など多様な主体が協力して進める観光地域づくりを進める。	・ふるさと宍粟観光プラットフォームの開催 【第1回運営委員会】 日 時 令和7年6月17日 場 所 山崎酒蔵通り・商店街付近 参加者 15名 内 容 ① 山崎中心市街地の歴史観光地視察 ② 意見交換会等 【第2回運営委員会】 日 時 令和7年10月30日 場 所 はがてらす（波賀市民協働センター）大ホール 内 容 ① 各種事業の中間報告 ② 意見交換等 参加者 17名 【第3回運営委員会】 日 時 令和8年3月19日 場 所 ライブリーちくさ3Fホール 参加者 20名 内 容 ① 令和7年度の取組みについて ② 令和8年度の取組み（案）について ③ ふるさと宍粟観光ステーション（仮）について ④ プラットフォーム運営委員の活動について ⑤ 意見交換 ・アウトドア部会 ・宍粟市道の駅ネットワーク検討会 ・宍粟 NATOaction 会議 中小旅行会社や地域活性化などの有識者を招いてのファームツアー 日 時 令和7年10月10・11日 内 容 1日目 姫路駅～丹波黒大豆収穫体験～飯見棚田新米おにぎりの昼食～森林鉄道乗車体験～フォレストステーション波賀宿泊	

		2 日目 フォレストステーション波賀 ～原観光リンゴ園・りんご狩り～道の駅みなみ波賀～山崎酒蔵通り・大歳神社千年藤、散策・試飲～国見の森公園・ミニモノレール乗車～姫路 参加者 旅行会社 3 人、旅館経営者 1 人、地域活性化事業者 2 人 計 6 人 ・ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 兵庫・宍粟（観光庁 地域観光魅力向上事業） 市内をウォーキングして温泉につかり、その土地ならではの食を堪能するイベント 日 時 令和 7 年 11 月 1 日 内 容 （ツアー行程） ★山崎観光駐車場集合・スタート ① 山崎まち歩き⇒バス移動⇒森林鉄道イベント ② バス移動⇒森林鉄道イベント⇒山崎まち歩き 参加者 84 名	
--	--	--	--

5 公的施設の管理運営事業

事業の目的に合った公的施設の管理運営を受託し、その施設を活用し多様な体験を促すため、次の事業を行う。

（1）兵庫県立国見の森公園の管理運営事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
施設の管理事業	公園施設の適正な管理を行う。	・開園日 3 0 8 日 ・年間利用者数 42,532 名 ・施設、ミニモノレール、園地管理を実施	
体験プログラム事業	人と自然が共生する豊かな森づくりを推進するため、活動スタッフの参画と協働によるプログラム活動を実施することにより、森林の保全と創造を進め、県民に自然とのふれあいの場・人と人との交流の場を提供する。	・プログラム活動の実施 一般プログラム 実施回数 64 回 参加者 1,321 名 - 特別プログラム くにみまつり 令和 7 年 9 月 23 日 参加者 1,800 人 ・学校・団体プログラムの実施 実施回数 268 回 参加者 3,145 名 ・里山林の整備 実施回数 4 回 参加者 60 名 ・活動スタッフの支援 活動スタッフ登録者数 49 名 ① 森を知るグループ 20 名 ② 森を育てるグループ 16 名 ③ 森を楽しむグループ 13 名 本部事業ほか、各グループ活動を支援	

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

事業名	事業内容	事業実績	備考
土地の賃貸借	基本財産として保有している土地を賃借し、その運用を図る。	所有する土地（873.24 ㎡）の賃貸借 所在地及び面積 山崎町今宿字前田 19-31 150.24 ㎡	

		21-1 307.00 m ²	
		22-3 416.00 m ²	

2 その他事業会計

他 1 観光地域づくり支援事業

観光を通じた地域づくりを推進するためには、観光関係者のみならず、地域住民も含めた幅広い関係者が連携し魅力ある地域づくりを実践していくため、観光地域づくりに取り組む団体等を支援する。

(1) 自然とのふれあい事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
やまたびエクスプレス	県下最高峰「氷ノ山」や三室山等の宍粟 50 名山を観光資源として活用するため、都市部からの登山バスの運行を支援する。	【氷ノ山バスツアー】 ・運行期間 10 月 22 日～10 月 26 日 3 回 46 名参加 ・運行ルート 姫路駅 ～ 氷ノ山坂ノ谷登山口 ～ 姫路駅	
宍粟 50 名山ファンクラブ事業	宍粟 50 名山愛好者のために、登山会等の情報提供や会員相互の交流を行うファンクラブを設置する。	・宍粟 50 名山ファンクラブの設置 会員数 個人 103 名 家族 16 家族 (32 名) ・ファンクラブ限定登山会の開催 第 1 回 (6 月 22 日) 場 所：東山～五蔵山 参加者 25 名 第 2 回 (11 月 2 日) 場 所：三室山～竹呂山 参加者 37 名	

(2) 観光資源活用事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
観光協会賛助会員事業	地域資源を活用して実施するイベントに対して支援を行う。	・賛助会員数 79 団体 特別団体賛助会員 13 団体 団体賛助会員 15 団体 賛助会員 51 団体 ・賛助会員主催イベント (助成対象) 9 団体 11 イベント	

(3) 田舎暮らし支援事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
地域おこし協力隊事業	都市住民など地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域おこし協力隊として地域力の維持・強化を図る。	地域おこし協力隊の活動支援 1 名 ・アウトドア活動推進担当 広瀬 和磨 (令和 8 年 4 月まで) ※市北部の観光情報発信、イベント企画	

(4) 人材育成のための研修事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
観光案内人育成事業	観光案内を目的に結成されたボランティア団体を支援し、活動の充実を図るとともに新たな人材の育成を図る。	・やまさきまち歩きガイドの会を支援 ・たたらの里ちくさガイドの会を支援 ※宍粟学講座への参加要請	

(5) サイクルツーリズム事業

事業名	事業内容	事業実績	備考
サイクルツーリズム事業	宍粟市の豊かな自然を感じていただくとともに、新たな観光促進事業としてサイクルツーリズムを推進し、活性化を図る。	・ レンタサイクル事業 E-BIKE（電動アシスト機能付マウンテンバイク）のレンタル 40台 【レンタル箇所】 ① 兵庫県立国見の森公園 5台 ② 道の駅みなみ波賀 2台 ③ フォレストステーション波賀 3台 ④ 道の駅はが 20台 ⑤ くるみの里 5台 ⑥ MONJUNOFUKUCHI 5台 【利用実績】 6施設 321名 ※参考 セラピーバイク利用 3回 8名 上記集計には含まれません。 ・ [シソイチ]サイクリング周遊イベント 6月～11月 達成者(シソイチ) 309名 達成者(シソイチプラス) 12名 公式LINE登録数 1,042名 ・ ライドイベント 開催日：令和7年6月8日 参加者：参加者 132名 (一般参加者、インフルエンサー等)	

Ⅲ 法人会計

事業名	事業内容	事業実績	備考
協会の運営	協会の適正かつ円滑な運営を図る。また、関係団体等と連携を図り円滑な事業推進を図る。	・ 評議員会の開催 ・ 理事会の開催 ・ 諸会議の開催 ・ 関係団体との連携会議	

令和 7 年度

公益財団法人しろう森林王国観光協会
決 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日

公益財団法人しろう森林王国観光協会

決 算 書 類

- 1 貸借対照表
- 2 貸借対照表内訳書
- 3 正味財産増減計算書
- 4 正味財産増減計算書内訳書
- 5 財務諸表に対する注記
- 6 附属明細書
- 7 財産目録

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	396,536	848,480	△ 451,944
普通預金	12,973,042	4,543,460	8,429,582
未収入金	1,163,695	1,722,461	△ 558,766
立替金	0	36,000	△ 36,000
仮払金	0	0	0
流動資産合計	14,533,273	7,150,401	7,382,872
2. 固定資産			
(1) 基本財産	110,000,000	110,000,000	0
定期預金	55,853,500	55,853,500	0
土地	54,146,500	54,146,500	0
(2) その他固定資産	627,144	1,206,846	△ 579,702
建物	79,554	93,445	△ 13,891
構築物	517,583	1,083,394	△ 565,811
機械・装置	2	2	0
器具備品	5	5	0
車両運搬具	0	0	0
ソフトウェア	0	0	0
出資金	30,000	30,000	0
固定資産合計	110,627,144	111,206,846	△ 579,702
資産合計	125,160,417	118,357,247	6,803,170
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,724,969	3,289,947	6,435,022
前受金	0	60,000	△ 60,000
預り金	1,573,631	1,352,946	220,685
仮受金	0	0	0
未払法人税等	72,000	72,000	0
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	11,370,600	4,774,893	6,595,707
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	110,000,000	110,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(110,000,000)	(110,000,000)	
(うち特定資産への充当額)	()	()	
2. 一般正味財産	3,789,817	3,582,354	207,463
(うち基本財産への充当額)	()	()	
(うち特定資産への充当額)	()	()	
正味財産合計	113,789,817	113,582,354	207,463
負債及び正味財産合計	125,160,417	118,357,247	6,803,170

貸借対照表内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取 引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	396,536				396,536
普通預金	12,973,042				12,973,042
未収入金	1,079,695	84,000			1,163,695
立替金	0				0
他勘定立替金	2,512,697	△ 1,059,497	△ 1,453,200	0	0
流動資産合計	16,961,970	△ 975,497	△ 1,453,200	0	14,533,273
2. 固定資産					0
(1) 基本財産					0
定期預金			55,853,500		55,853,500
土地		54,146,500			54,146,500
(2) その他固定資産					
建物	79,554				79,554
構築物	517,583				517,583
機械・装置	2				2
器具備品	5				5
車両運搬具	0				0
出資金	30,000				30,000
固定資産合計	627,144	54,146,500	55,853,500	0	110,627,144
資産合計	17,589,114	53,171,003	54,400,300	0	125,160,417
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	9,386,672	24,654	313,643		9,724,969
預り金	1,573,631				1,573,631
前受金		0			0
仮受金	0				0
未払法人税等		72,000			72,000
2. 固定負債					0
負債合計	10,960,303	96,654	313,643	0	11,370,600
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産		54,146,500	55,853,500		110,000,000
(うち基本財産への充当額)		(54,146,500)	(55,853,500)	()	(110,000,000)
(うち特定資産への充当額)	()	()	()	()	()
2. 一般正味財産	6,628,811	△ 1,072,151	△ 1,766,843	0	3,789,817
(うち基本財産への充当額)	()	()	()	()	()
(うち特定資産への充当額)	()	()	()	()	()
正味財産合計	6,628,811	53,074,349	54,086,657	0	113,789,817
負債及び正味財産合計	17,589,114	53,171,003	54,400,300	0	125,160,417

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	1,120,664	1,057,817	62,847
受取利息	112,664	49,817	62,847
受取賃借料	1,008,000	1,008,000	0
事業収益	3,344,144	2,231,101	1,113,043
参加費収益	3,105,624	1,986,701	1,118,923
商品売上収益	238,520	244,400	△ 5,880
受取補助金等	88,871,374	81,084,213	7,787,161
受取県補助金	167,195	890,713	△ 723,518
受取市補助金	33,089,019	35,519,726	△ 2,430,707
受取その他補助金	5,575,000	0	5,575,000
受取県受託金	41,269,300	36,475,500	4,793,800
受取市受託金	8,770,860	8,198,274	572,586
受取その他受託金	0	0	0
受取負担金	1,145,000	1,145,000	0
受取県負担金	0	0	0
受取市負担金	1,145,000	1,145,000	0
受取その他負担金	0	0	0
賛助会費	845,500	917,000	△ 71,500
賛助会費	845,500	917,000	△ 71,500
雑収益	4,750,175	1,141,504	3,608,671
受取利息	49,352	4,236	45,116
雑収入	4,700,823	1,137,268	3,563,555
経常収益計	100,076,857	87,576,635	12,500,222
(2)経常費用			
事業費	84,249,692	70,482,683	13,767,009
給料手当	30,763,752	28,161,722	2,602,030
臨時雇賃金	304,000	272,000	32,000
福利厚生費	4,618,166	4,203,793	414,373
旅費交通費	527,514	613,282	△ 85,768
会議費	0	0	0
通信運搬費	736,283	778,013	△ 41,730
消耗什器備品費	961,921	0	961,921
消耗品費	4,749,323	4,627,809	121,514
備品購入費	0	1,289,970	△ 1,289,970
修繕費	8,977,317	3,625,522	5,351,795
印刷製本費	381,299	1,334,892	△ 953,593
燃料費	784,135	786,548	△ 2,413
食糧費	932,311	210,096	722,215
水道光熱費	698,649	2,350,236	△ 1,651,587
賃借料	1,367,680	1,379,680	△ 12,000
保険料	1,314,518	1,023,896	290,622
諸謝金	502,354	339,909	162,445
広告宣伝費	473,459	510,907	△ 37,448
租税公課	2,240,278	2,509,215	△ 268,937
支払手数料	182,110	164,632	17,478
負担金支出	1,744,232	1,789,052	△ 44,820
委託費	15,559,086	7,393,017	8,166,069
助成金	5,468,720	6,004,329	△ 535,609
使用料	123,949	284,440	△ 160,491
研修費	5,000	36,520	△ 31,520
雑費	0	5,559	△ 5,559
仕入支出	253,934	207,941	45,993

減価償却費	579,702	579,703	△ 1
管理費	15,547,702	15,865,137	△ 317,435
役員報酬	4,634,748	4,846,464	△ 211,716
給料手当	4,318,450	6,141,028	△ 1,822,578
福利厚生費	1,854,641	1,948,671	△ 94,030
旅費交通費	389,366	391,584	△ 2,218
会議費	0	0	0
通信運搬費	76,832	0	76,832
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	48,656	49,557	△ 901
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
燃料費	288,502	283,314	5,188
食糧費	0	0	0
水道光熱費	2,583,470	850,762	1,732,708
賃借料	386,892	391,732	△ 4,840
保険料	28,180	28,180	0
租税公課	481,832	405,505	76,327
支払手数料	24,277	22,902	1,375
負担金支出	125,000	125,000	0
委託費	280,720	354,302	△ 73,582
使用料	26,136	26,136	0
経常費用計	99,797,394	86,347,820	13,449,574
当期経常増減額	279,463	1,228,815	△ 949,352
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額			0
他会計振替高	0	0	0
法人税・住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	207,463	1,156,815	△ 949,352
期首一般正味財産	3,582,354	1,127,305	2,455,049
期末一般正味財産	3,789,817	2,284,120	1,505,697
			0
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
期首指定正味財産	110,000,000	110,000,000	0
期末指定正味財産	110,000,000	110,000,000	0
III 期末正味財産合計	113,789,817	112,284,120	1,505,697

正味財産増減計算書内訳書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	合 計
	公1	収益事業	その他事業 他1	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1)経常収益						
基本財産運用益		1,120,664		1,120,664		1,120,664
受取利息		112,664		112,664		112,664
受取賃借料		1,008,000		1,008,000		1,008,000
事業収益	2,536,644		807,500	807,500		3,344,144
参加費収益	2,298,124		807,500	807,500		3,105,624
商品売上収益	238,520			0		238,520
受取補助金等	65,170,952		8,335,422	8,335,422	15,365,000	88,871,374
受取県補助金	167,195			0		167,195
受取市補助金	16,363,597		1,360,422	1,360,422	15,365,000	33,089,019
受取その他補助金			5,575,000	5,575,000		5,575,000
受取県受託金	41,269,300			0		41,269,300
受取市受託金	7,370,860		1,400,000	1,400,000		8,770,860
受取その他受託金				0		0
受取負担金	1,125,000		20,000	20,000		1,145,000
受取県負担金				0		0
受取市負担金	1,125,000		20,000	20,000		1,145,000
受取その他負担金				0		0
協賛金	0		845,500	845,500	0	845,500
協賛金			845,500	845,500	0	845,500
雑収入	1,905,920		2,792,000	2,792,000	52,255	4,750,175
受取利息	1			0	49,351	49,352
雑収入	1,905,919		2,792,000	2,792,000	2,904	4,700,823
内部取引	0					0
預り金	0					0
経常収益計	70,738,516	1,120,664	12,800,422	13,921,086	15,417,255	100,076,857
(2)経常費用						0
事業費	71,455,093	24,654	12,769,945	12,794,599		84,249,692
給料手当	30,763,752		0	0		30,763,752
臨時雇賃金	304,000		0	0		304,000
福利厚生費	4,618,166		0	0		4,618,166
旅費交通費	353,234		174,280	174,280		527,514
会議費	0		0	0		0
通信運搬費	456,833		279,450	279,450		736,283
消耗什器備品費	961,921		0	0		961,921
消耗品費	4,140,528		608,795	608,795		4,749,323
備品購入費	0		0	0		0
修繕費	8,891,606		85,711	85,711		8,977,317
印刷製本費	332,665		48,634	48,634		381,299
燃料費	642,496		141,639	141,639		784,135
食糧費	552,406		379,905	379,905		932,311
水道光熱費	696,109		2,540	2,540		698,649
賃借料	779,680		588,000	588,000		1,367,680
保険料	1,052,763		261,755	261,755		1,314,518
諸謝金	502,354		0	0		502,354
広告宣伝費	442,959		30,500	30,500		473,459
租税公課	2,214,824	24,654	800	25,454		2,240,278
支払手数料	154,314		27,796	27,796		182,110
負担金支出	1,309,025		435,207	435,207		1,744,232
委託費	6,988,290		8,570,796	8,570,796		15,559,086
助成金	4,420,720		1,048,000	1,048,000		5,468,720
使用料	42,812		81,137	81,137		123,949
研修費	0		5,000	5,000		5,000
雑費	0			0		0
仕入支出	253,934			0		253,934
減価償却費	579,702			0	0	579,702

管理費				0	15,547,702	15,547,702
役員報酬					4,634,748	4,634,748
給料手当				0	4,318,450	4,318,450
福利厚生費				0	1,854,641	1,854,641
旅費交通費				0	389,366	389,366
会議費				0		0
通信運搬費				0	76,832	76,832
消耗什器備品費				0		0
消耗品費				0	48,656	48,656
修繕費				0		0
印刷製本費				0		0
燃料費				0	288,502	288,502
食糧費				0		0
水道光熱費				0	2,583,470	2,583,470
賃借料				0	386,892	386,892
保険料				0	28,180	28,180
租税公課				0	481,832	481,832
支払手数料				0	24,277	24,277
負担金支出				0	125,000	125,000
委託費				0	280,720	280,720
使用料				0	26,136	26,136
内部取引				0		0
預り金				0		0
経常費用計	71,455,093	24,654	12,769,945	12,794,599	15,547,702	99,797,394
当期経常増減額	△ 716,577	1,096,010	30,477	1,126,487	△ 130,447	279,463
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
過年度損益修正益						
(2) 経常外費用	0					0
過年度減価償却費						
当期経常外増減額	0					0
他会計振替高	548,005	△ 548,005	0	△ 548,005		0
税引前当期一般正味財産増減	△ 168,572	548,005	30,477	578,482	△ 130,447	279,463
法人税・住民税及び事業税		72,000		72,000		72,000
当期一般正味財産増減額	△ 168,572			506,482	△ 130,447	207,463
期首一般正味財産	6,797,383			△ 1,578,633	△ 1,636,396	3,582,354
期末一般正味財産	6,628,811			△ 1,072,151	△ 1,766,843	3,789,817
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0
期首指定正味財産	0			54,146,500	55,853,500	110,000,000
期末指定正味財産	0			54,146,500	55,853,500	110,000,000
III 期末正味財産合計	6,628,811	0	0	53,074,349	54,086,657	113,789,817

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法及び定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
該当なし。
- (4) 消費税の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。
ただし、特定資産は該当なし。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	55,853,500	0	0	55,853,500
土地	54,146,500	0	0	54,146,500

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。
ただし、特定資産は該当なし。

(単位：円)

科目	前期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	55,853,500	(55,853,500)	0	0
土地	54,146,500	(54,146,500)	0	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末高
建物	330,750	251,196	79,554
構築物	8,022,240	7,504,657	517,583
機械・装置	2,424,000	2,423,998	2
器具・備品	5,773,050	5,410,795	5
ソフトウェア	362,250	362,250	0

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の掲載区 分
補助金						
観光プロモーション事業	矢栗市	0	9,977,189	9,977,189	0	
観光イベント支援事業	矢栗市	0	600,000	600,000	0	
発酵のまちづくり事業	矢栗市	0	900,000	900,000	0	
王国観光協会運営	矢栗市	0	15,365,000	15,365,000	0	
やまたびエクスプレス事業	矢栗市	0	1,514,000	1,514,000	0	
最上山もみじ祭り事業	矢栗市	0	2,772,381	2,772,381	0	
ふじまつり事業	矢栗市	0	1,648,339	1,648,339	0	
フォトコンテスト事業	矢栗市	0	312,110	312,110	0	
県有施設等燃料高騰対策事業	兵庫県	0	167,195	167,195	0	
地域観光魅力向上事業	観光庁	0	5,575,000	5,575,000	0	
負担金						
しそらブランドアンバサダー設置事業	矢栗市	0	900,000	900,000	0	
観光ガイド育成事業	矢栗市	0	20,000	20,000	0	
観光施設管理事業	矢栗市	0	175,000	175,000	0	
ボランティア活動推進事業	矢栗市	0	50,000	50,000	0	
合計		0	39,976,214	39,976,214	0	

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。

財 産 目 録

令和8年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	396,536
預金	普通預金	運転資金として	12,973,042
	西兵庫信用金庫		12,146,424
	ゆうちょ銀行		826,618
仮払金			0
未収金		県・市補助金 他	1,163,695
流動資産合計			14,533,273
(固定資産)			
基本財産 土地	873. 24㎡ 150. 24㎡ 兵庫県山崎町今宿字前田19-3 307. 00㎡ 兵庫県山崎町今宿字前田21-1 416. 00㎡ 兵庫県山崎町今宿字前田22-3	公益目的保有財産であり、収益事業に 使用している。	54,146,500
特定資産	定期預金		55,853,500
	西兵庫信用金庫	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業 及び施設事業の財源として使用している。	32,926,750
	ハリマ農業協同組合		22,926,750
その他固定資産 建物			79,554
構築物			517,583
機械・装置			2
器具・備品			5
ソフトウェア			0
出資金	西兵庫信用金庫		30,000
固定資産合計			110,627,144
資産合計			125,160,417
(流動負債) 未払金			9,724,969
預り金			1,573,631
未払法人税等			72,000
流動負債合計			11,370,600
固定負債合計			0
負債合計			11,370,600
正味財産			113,789,817

令和 8 年度
事業計画書

公益財団法人しろう森林王国観光協会

事業計画書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

I 公益目的事業会計

公1 森林と共生する観光地域づくり

宍粟市が誇る森林をはじめとする豊かな地域資源を保全するとともに、それらを活用して交流人口の増加を促し、観光による地域づくりを推進する。

1 地域資源の発掘・保全・育成事業

森林をはじめとする豊かな地域資源を保全・育成するため、次の事業を行う。

(1) 自然資源の保全事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
宍粟 50 名山登山ルート周辺管理事業	宍粟 50 名山を訪れる登山者の安全を確保するため、登山ルートの現状を調査し、必要に応じて登山道の整備や案内板を設置する。	・登山ルートの現状調査 ・登山ルートの整備 ・ルート案内板の設置・点検 ・HP を活用したルート案内等	

(2) 観光資源の保全事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
フラワーロード事業	市街地の景観を創出するため、フラワーロード（5ヶ所）の管理を行う。	・フラワーロード花壇の植栽管理	

2 自然とのふれあい等による交流促進事業

地域資源を生かした様々なイベントの開催や自然学習・体験学習の実施などを通じて、自然保護への理解を深めるとともに人と人の交流を促進するため、次の事業を行う。

(1) 自然とのふれあい事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
宍粟 50 名山登山事業	豊かな自然資源の 1 つである「山」を基軸とした活動を実施する。	・宍粟 50 名山ふれあい登山会の開催 回数 年4回 4月～10月 定員 各回 40 名 ・冬山登山会 回数 年3回 1月～2月 定員 各回 20 名 ・フォトイベント 山頂フォト写真の募集 山の日（8/11） 前後 2 週間	
森林セラピー事業	森林セラピー基地の認定を受けた、森の持つ「癒し効果」を活用し、市民・県民の健康づくり及び企業等のメンタルヘル스에寄与した森林セラピー事業を展開する。	・森林セラピープログラムの実施 (国見の森セラピーロード) 時期 通年 (赤西セラピーロード) 時期 5月～11月(冬季プログラム有) (東山セラピーロード) 時期 通年(積雪時除く) ・企業向け、団体向けプログラム開発 ※E-BIKE を活用したセラピーバイクの磨き上げ及び冬場のプログラム開発(スノーシューセラピー等)	

		・癒しの森ガイドの運営支援 ガイドのスキルアップ研修等及び ガイドの更新講習の実施 ※市の認定制度の導入 ・イベントでのPR ・森林セラピー宿泊プランのPR	
最上山もみじ祭り事業	最上山公園もみじ山において、紅葉の最盛期に観光客をおもてなしするとともに、宍粟の「食」・「発酵」をPRするために、もみじ祭りを開催する。また、商店街を中心にした各イベントと連携するとともに、行楽シーズンの市内周遊をPRする。	・最上山もみじ祭りの開催 時期 11月中旬～下旬 ① 地元、酒蔵通り、連合商店街等による各種イベントの開催 ② 弁天池駐車場での観光案内及びブランド認証品等PR ③ 観光駐車場等周辺警備 ※市と協賛の酒粕フェアの開催及び市内もみじ祭りとの共催	

(2) 地域資源活用事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
たたら製鉄体験事業	宍粟の重要な地域資源である「たたら」の魅力をPRするため、たたら製鉄を体験できるイベントを開催する。	・千種でのイベントと合わせた、たたら製鉄体験イベントの開催	
千年藤まつり事業	大歳神社「千年藤」の開花時期に合わせてイベントを実施する。 ホームページ等において開花状況をお知らせし、観光客の増加を図り、行楽シーズンの市内周遊をPRする。	・臨時駐車場開設及び警備 時期 4月下旬～5月上旬 場所 大歳神社周辺 内容 地元、連合商店街等による各種イベントの開催 駐車場及び大歳神社周辺警備他	

(3) 森林文化の普及啓発事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
観光PR事業 (市外観光プロモーション事業)	市外で開催されるイベントへ参画し、宍粟の魅力をPRする。 また、阪神間での知名度の向上を図るため、宍粟オリジナルのイベントを開催するとともに、インバウンドの受入れについて協議する。	・市外イベントへの参画 アグロ・モンベルフレンドフェア他 ・体験型モデルツアーの実施	
観光PR事業 (情報発信事業)	宍粟の多彩な魅力を発信し、交流人口を増やすことを目的に、さまざまな媒体を活用した情報発信を行う。 また、令和6年度から実施している、にしん・たつの市との連携事業により広域的な情報発信を行う。	・各種媒体を通じた情報発信 ・オリジナルパンフレットの制作 - にしん・たつの市との連携事業 ・道の駅なごスタンプラリーの実施 ・神戸学院大学との連携事業 (フィールドワークを経て、モデルコースの構築など)	
観光PR事業 (インターネット等活用事業)	ホームページを通じて、観光に関する最新の情報をタイムリーに提供する。	・DXシステムの導入 ブランド認証品等販売サイト等の開設 ・ホームページの更新 ・ホームページライターの募集、育成 ・各種SNSを活用した情報発信	

観光PR事業 (多目的プロモーションカー活用事業)	宍粟市が所有する「多目的プロモーションカー」を活用しPR活動を行う。	・市内外でのイベントでのPR	
発酵のまちづくり事業	「日本酒発祥の地・発酵のまち宍粟の歳時記」として、宍粟市と連携しながら日本酒を楽しむイベントや講演会、研修会等を開催し、日本酒や発酵文化の理解を深めるとともに、市内外へのPRを図る。	・日本酒発祥の地・発酵のまち宍粟のPR ・日本酒発祥の地「庭田神社」で採取された「庭糍」を使用した甘酒を特産品としてPRする。 ・市と連携し、酒粕フェアの開催 ・発酵のまちづくり推進協議会事業との連携 ・酒蔵通りへの案内看板設置	
しそブランドアンバサダー設置事業	しそ森林王国の象徴としてブランドアンバサダーを設置し、森林王国のイメージアップを図るとともに、市内外のイベント等へ参画し、森や水の大切さをPRする。	・しそブランドアンバサダーの設置 上山奈都実 ・ 松本莉鈴 ・イベント等への参画によるPR活動	
フォトコンテスト事業	宍粟の魅力を再発見するとともに、入賞作品を各所で展示し、宍粟の魅力をPRする。(令和8年度は案内のみとし、審査は令和9年度末で実施予定)	・フォトコンテストの開催 ・フォトコンテスト作品展の開催	
ボランティア活動推進事業	森林王国の活動への参加を通じて、より多くの人に森林文化への理解を深めてもらう。	・ボランティア活動への支援	

3 観光地域づくりのための特産品開発等の調査・研究事業

観光による地域づくりを推進するためのさまざまな調査・研究を行う。

特に、宍粟の産品を活用した「食」の観光資源化に向けた研究開発を図るため、次の事業を行う。

(1) 特産品開発事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
食のブランド化推進事業	宍粟の産品を活用した魅力ある特産メニューを研究開発し来訪者の増加を図る。	・地元食材を活用したメニューのPR ・発酵のまちづくり推進協議会で開発したメニューのPR(甘酒) ・ブランド認証品の販売ルートの構築	

4 観光地域づくりを担う人材育成に関する事業

宍粟の魅力を再発見することにより、地域に対する誇りや愛着心を醸成するとともに、そうした地域資源の活用方法等を研修することにより、新しい地域づくりの担い手を育成するため、次の事業を行う。

(1) 人材育成のための研修事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
観光地域づくり事業	事業者や市民、行政など多様な主体が協力して進める観光地域づくりを進める。	・ふるさと宍粟観光プラットフォーム運営委員会の開催 ① 運営委員会 3回 ② 部会の開催 ・アウトドア部会の継続開催 ・新たな部会の設置	

5 公的施設の管理運営事業

事業の目的に合った公的施設の管理運営を受託し、その施設を活用し多様な体験を促すため、次の事業を行う。

(1) 兵庫県立国見の森公園の管理運営事業（現協定期間 令和6年度～令和8年度）

事業名	事業内容	事業計画	備考
施設の管理事業	公園施設の適正な管理を行う。	- 施設の管理 - ミニモノレールの管理 - 園地の管理	
体験プログラム事業	人と自然が共生する豊かな森づくりを推進するため、活動スタッフの参画と協働によるプログラム活動を実施することにより、森林の保全と創造を進め、県民に自然とのふれあいの場・人と人との交流の場を提供する。	- プログラム活動の実施 - 一般プログラム - 回数 年間 70 回程度 - 定員 プログラムの内容による - 特別プログラム - GWワークショップ - くにみまつりの開催(20周年) - 学校・団体プログラムの実施 - 里山林の整備	

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

事業名	事業内容	事業計画	備考
土地の賃貸借	基本財産として保有している土地を賃貸し、その運用を図る。	所有する土地（873.24 m ² ）の賃貸借 所在地及び面積 山崎町今宿字前田 19-31 150.24 m ² 21-1 307.00 m ² 22-3 416.00 m ² ※28 区画の駐車場として、宍粟警察署 マイカークラブと契約	

2 その他事業会計

他1 観光地域づくり支援事業

観光を通じた地域づくりを推進するためには、観光関係者のみならず、地域住民も含めた幅広い関係者が連携し魅力ある地域づくりを実践していくため、観光地域づくりに取り組む団体等を支援する。

(1) 自然とのふれあい事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
やまたびエクスプレス	県下最高峰氷ノ山等宍粟 50 名山を観光資源として活用するため、都市部からの登山バスの運行を支援する。	- 氷ノ山ツアーバスの運行 - 時期 9～10 月 - 内容 姫路発の宍粟ルートを利用した氷ノ山バスツアー (坂の谷林道の状況により、氷ノ山以外の登山となる可能性あり。)	
宍粟 50 名山ファンクラブ事業	宍粟 50 名山愛好者のために、登山会等の情報提供や会員相互の交流を行うファンクラブを設置する。	- 登山ツアー等の情報提供 - ファンクラブの集いの開催 - 回数 年 2 回 6 月 11 月 - 定員 各回 50 名 ※縦走ルートなど予定	

(2) 観光資源活用事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
観光協会賛助会員事業	地域資源を活用して実施するイベントに対して支援を行う。	・会員向けイベントに対する助成対象事業費の1/2【上限100,000円】 ・イベントの開催 - 時期 通年 - 場所 市内各地 - 内容 賛助会員を出展対象にした宍粟市PRイベントの開催他 ※観光シーズンに向けた宍粟市及びブランド認証品のPR等	

(3) 田舎暮らし支援事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
地域おこし協力隊事業	都市住民など地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域おこし協力隊として地域力の維持・強化を図る。	地域おこし協力隊の活動支援 ・観光振興支援 ①アウトドア活動推進担当 広瀬 和磨（令和8年4月まで） ②新しい観光・地域ブランディングの推進 ※現在募集中	

(4) 人材育成のための研修事業

事業名	事業内容	事業計画	備考
観光案内人育成事業	観光案内を目的に結成されたボランティア団体を支援し、活動の充実を図るとともに新たな人材の育成を図る。	・やまさきまち歩きガイドの会支援 ・たたらの里ちくさガイドの会支援	

(5) サイクルツーリズム事業

事業名	事業内容	事業計画	備考												
サイクルツーリズム事業	宍粟市の豊かな自然を感じていただくとともに、新たな観光促進事業としてサイクルツーリズムを推進し、活性化を図る。	・ レンタサイクル事業 E-BIKE（電動アシスト機能付マウンテンバイク）のレンタル 35 台 市内 4 施設で実施 <table><tr><td>国見の森公園</td><td>5 台</td></tr><tr><td>フォレストステーション波賀</td><td>5 台</td></tr><tr><td>くるみの里</td><td>5 台</td></tr><tr><td>MONJUNOFUKUCHI</td><td>5 台</td></tr><tr><td>森の案内所</td><td>15 台</td></tr><tr><td></td><td>計 35 台</td></tr></table>	国見の森公園	5 台	フォレストステーション波賀	5 台	くるみの里	5 台	MONJUNOFUKUCHI	5 台	森の案内所	15 台		計 35 台	
国見の森公園	5 台														
フォレストステーション波賀	5 台														
くるみの里	5 台														
MONJUNOFUKUCHI	5 台														
森の案内所	15 台														
	計 35 台														
地域活力増進事業	サイクリストに優しいまちとして、サイクリングを通じた観光 PR「シソイチ」の企画・運営を行ない、市内観光施設の活性化を図る。更にコースの延伸や縦走コースを考案する。（令和 6 年から 3 年間） また、特産品開発にもとりかかる。	1 年目 「シソイチ」企画・運営／試食品開発 2 年目 「シソイチ+（プラス）」 拡充 シソイチライドイベント 2025 開催 3 年目 瀬戸内⇄日本海、ライダーズカフェ シソイチライドイベント 2026 開催	主催： 宍粟市商工会 ライドイベント主催： 観光協会												

Ⅲ 法人会計

事業名	事業内容	事業計画	備考
協会の運営	協会の適正かつ円滑な運営を図る。また、関係団体等と連携を図り円滑な事業推進を図る。	・評議員会の開催 ・理事会の開催 ・諸会議の開催 ・関係団体との連携会議	

令和 8 年度
収 支 予 算 書

公益財団法人しろう森林王国観光協会

収 支 予 算 書 (損益ベース)

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,083,000	1,083,000	0	
受取利息	75,000	75,000	0	
受取賃借料	1,008,000	1,008,000	0	
事業収益	3,705,000	3,404,000	301,000	
参加費収益	3,441,000	2,990,000	451,000	
商品売上収益	264,000	414,000	△ 150,000	
受取補助金等	105,406,000	80,853,000	24,553,000	
受取市補助金	33,792,000	33,577,000	215,000	
受取その他補助金	0	200,000	△ 200,000	
受取県受託金	64,054,000	38,256,000	25,798,000	
受取市受託金	7,560,000	8,820,000	△ 1,260,000	
受取負担金	1,327,000	1,327,000	0	
受取市負担金	1,145,000	1,145,000	0	
受取その他負担金	182,000	182,000	0	
受取賛助会費	0	630,000	△ 630,000	
受取賛助会費	0	630,000	△ 630,000	
雑収入	1,142,000	2,000	1,140,000	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収入	1,141,000	1,000	1,140,000	
経常収益計	112,663,000	87,299,000	25,364,000	
事業費	97,043,000	71,014,000	26,029,000	
給料手当	27,347,000	26,497,000	850,000	
臨時雇賃金	400,000	320,000	80,000	
福利厚生費	4,478,000	4,260,000	218,000	
旅費交通費	421,000	549,000	△ 128,000	
通信運搬費	509,000	603,000	△ 94,000	
消耗什器備品費	210,000	260,000	△ 50,000	
消耗品費	4,206,000	3,293,000	913,000	
修繕費	30,743,000	5,741,000	25,002,000	
印刷製本費	1,144,000	1,382,000	△ 238,000	
燃料費	699,000	835,000	△ 136,000	
食糧費	477,000	50,000	427,000	
光熱水費	2,200,000	2,200,000	0	
賃借料	782,000	1,285,000	△ 503,000	
保険料	1,350,000	1,235,000	115,000	
諸謝金	480,000	1,015,000	△ 535,000	
広告宣伝費	2,340,000	2,250,000	90,000	
渉外費	0	0	0	
租税公課	1,532,000	1,571,000	△ 39,000	

収 支 予 算 書 (損益ベース)

令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
手数料	396,000	428,000	△ 32,000	
負担金	1,090,000	808,000	282,000	
委託費	10,093,000	10,386,000	△ 293,000	
助成金	6,146,000	5,966,000	180,000	
雑費	0	80,000	△ 80,000	
管理費	16,450,000	16,285,000	165,000	
役員報酬	4,847,000	4,847,000	0	
給料手当	7,657,000	7,081,000	576,000	
職員退職給付費用	168,000	0	168,000	
福利厚生費	1,213,000	1,792,000	△ 579,000	
旅費交通費	324,000	324,000	0	
会議費	11,000	11,000	0	
通信運搬費	48,000	48,000	0	
消耗品費	38,000	38,000	0	
修繕費	10,000	10,000	0	
燃料費	180,000	180,000	0	
光熱水料費	792,000	792,000	0	
賃借料	456,000	456,000	0	
保険料	29,000	29,000	0	
租税公課	85,000	85,000	0	
手数料	100,000	100,000	0	
負担金	227,000	227,000	0	
委託費	265,000	265,000	0	
経常費用計	113,493,000	87,299,000	26,194,000	
評価損益等調整前当期経常増加額	△ 830,000	0	△ 830,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 830,000	0	△ 830,000	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
過年度役員退任慰労費用	0	0	0	
過年度職員退職給付費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 830,000	0	△ 830,000	

公益財団法人しそ森林王国観光協会
収支予算書内訳書
(令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで)

収入の部

(単位:円)

科目			本年度予算額	前年度予算額	比較	摘要
大科目	中科目	小科目				
基本財産運用益			1,083,000	1,083,000	0	
	基本財産運用益		1,083,000	1,083,000	0	
		受取利息	75,000	75,000	0	
		受取賃借料	1,008,000	1,008,000	0	駐車場(28台分)
事業収益			3,705,000	3,404,000	301,000	
	事業収益		3,705,000	3,404,000	301,000	
		参加費収益	3,441,000	2,990,000	451,000	登山会参加費(8回) 560,000 ファンクラブ登山会参加費 180,000 森林セラピー受講料 1,001,000 レンタサイクル利用料 970,000 国見プログラム参加費 730,000
		商品売上収益	264,000	414,000	△ 150,000	イベント販売収入 264,000 国見商品販売等 0
受取補助金等			105,406,000	80,853,000	24,553,000	
	受取補助金		33,792,000	33,777,000	15,000	
		受取市補助金	33,792,000	33,577,000	215,000	観光振興活動促進補助金 32,892,000 発酵のまちづくり事業 900,000
		受取その他補助金	0	200,000	△ 200,000	宍粟市商工会地域活力増進事業補助金
	受取受託金		71,614,000	47,076,000	24,538,000	
		受取県受託金	64,054,000	38,256,000	25,798,000	国見の森公園管理運営事業
		受取市受託金	7,560,000	8,820,000	△ 1,260,000	宍粟50名山ルート管理委託料 1,500,000 森林セラピー事業運営委託料 5,820,000 竹チッパー管理業務委託料 120,000 地域おこし協力隊支援委託料 120,000
受取負担金			1,327,000	1,327,000	0	
	受取負担金		1,327,000	1,327,000	0	
		受取市負担金	1,145,000	1,145,000	0	しそ森林王国観光協会負担金
		受取その他負担金	182,000	182,000	0	レンタサイクル事業事業者負担金
受取賛助会費			0	630,000	△ 630,000	
	受取賛助会費		0	630,000	△ 630,000	
		賛助会費	0	630,000	△ 630,000	しそ森林王国観光協会賛助会費 0 しそ50名山ファンクラブ会費 0
雑収入			1,142,000	2,000	1,140,000	
	雑収入		1,142,000	2,000	1,140,000	
		受取利息	1,000	1,000	0	科目設定
		雑収入	1,141,000	1,000	1,140,000	科目設定
当期収入合計			112,663,000	87,299,000	25,364,000	

支出の部

(単位:円)

科目			本年度予算額	前年度予算額	比較	摘要
大科目	中科目	小科目				
公益目的事業会計			92,633,000	66,764,000	25,869,000	
地域資源の発掘・保全・育成事業	地域資源の発掘・保全・育成事業		1,675,000	1,675,000	0	
	実粟50名山登山ルート管理事業		1,500,000	1,500,000	0	
		消耗品費	99,000	99,000	0	消耗品等
		燃料費	142,000	108,000	34,000	公用車燃料代
		賃借料	297,000	159,000	138,000	公用車リース料
		保険料	17,000	14,000	3,000	公用車保険料
		委託費	945,000	1,120,000	△ 175,000	定期調査委託料 770,000 登山口看板設置委託料 0 登山道整備委託料 175,000
	フラワーロード事業		175,000	175,000	0	
		委託費	175,000	175,000	0	花壇等管理委託料(5ヵ所) 125,000 支障木等伐採作業委託料 50,000
	自然とのふれあい等による交流事業		25,784,000	25,583,000	201,000	
	実粟50名山登山事業		1,436,000	1,436,000	0	
		通信運搬費	10,000	10,000	0	郵券料
		消耗品費	338,000	338,000	0	50名山登山会 参加記念品 206,000 山の日イベント 記念品 132,000
		保険料	56,000	56,000	0	参加者傷害保険料
		広告宣伝費	10,000	10,000	0	チラシ等印刷代
		手数料	6,000	6,000	0	モンベル配付物設置手数料
		委託費	1,016,000	1,016,000	0	ふれあい登山ガイド委託料 284,000 送迎バス委託料 732,000
	森林セラピー事業		6,821,000	6,670,000	151,000	
		給料手当	3,055,000	2,277,000	778,000	給料・手当
		福利厚生費	510,000	453,000	57,000	社会保険料等
		旅費	210,000	210,000	0	先進地視察研修旅費 100,000 ガイド研修等講師旅費 60,000 全国ネットワーク会議等旅費 50,000
		通信運搬費	62,000	122,000	△ 60,000	「森林の案内所」電話代 0 インターネット利用料 44,000 郵券料 18,000
		消耗什器備品費	60,000	60,000	0	各コース備品購入費
		消耗品費	72,000	76,000	△ 4,000	事務用消耗品等 60,000 赤西コース トイレ用品等 12,000 コロナ対策用消耗品等(アルコール消毒等)
		修繕料	330,000	645,000	△ 315,000	ストレスチェック等機器修繕 280,000 公用車車検等修繕料 50,000
		印刷製本費	168,000	110,000	58,000	パンフレット等印刷代
		燃料費	216,000	216,000	0	公用車燃料代
		食糧費	2,000	36,000	△ 34,000	研修会等講師弁当代
		賃借料	453,000	474,000	△ 21,000	公用車リース料
		保険料	164,000	168,000	△ 4,000	セラピー受講者保険料(ガイド含む) 105,000 公用車任意保険料 59,000
		諸謝金	50,000	300,000	△ 250,000	研修会講師料
		広告宣伝費	220,000	330,000	△ 110,000	新聞・雑誌等広告掲載料

支出の部

(単位:円)

科目			本年度予算額	前年度予算額	比較	摘要
大科目	中科目	小科目				
		租税公課費	5,000	55,000	△ 50,000	契約書等印紙代 5,000 公用車重量税 0
		手数料	243,000	276,000	△ 33,000	イベント出展手数料 60,000 し尿汲取り手数料(赤西) 0 オンライン決済手数料 183,000 公用車車検代行手数料 0
		委託費	1,001,000	862,000	139,000	森林セラピーガイド業務委託料 660,000 パンフレット作成業務委託料 202,000 アドバイザー委託料 0 マイクロ送迎委託 0
		最上山もみじ祭り事業	3,000,000	3,000,000	0	
		助成金	3,000,000	3,000,000	0	実行委員会助成金
		たたら製鉄体験事業	50,000	50,000	0	
		消耗品費	50,000	50,000	0	たたら製鉄材料費等
		千年藤まつり事業	1,900,000	1,800,000	100,000	
		助成金	1,900,000	1,800,000	100,000	実行委員会助成金
		観光PR事業	10,727,000	10,427,000	300,000	
		給料手当	3,020,000	3,025,000	△ 5,000	給料・手当(1名分)
		福利厚生費	548,000	639,000	△ 91,000	社会保険料等(1名分)
		旅費	100,000	50,000	50,000	イベント参加等旅費(大阪・神戸等)
		通信運搬費	72,000	72,000	0	郵券料
		消耗什器備品費	150,000	150,000	0	パソコン等購入・更新
		消耗品費	576,000	526,000	50,000	事務用消耗品等 360,000 観光プラットフォーム推進用消耗品等 66,000 イベント用消耗品 150,000
		修繕料	150,000	150,000	0	プロモーションカー修繕 100,000 ネットワーク機器等修繕 50,000
		印刷製本費	500,000	500,000	0	パンフレット等印刷代
		燃料費	81,000	81,000	0	公用車燃料代
		食糧費	14,000	14,000	0	会議用お茶代
		保険料	77,000	77,000	0	公用車任意保険料(プロモーションカー) 53,000 公用車自賠責保険料(プロモーションカー) 24,000
		諸謝金	50,000	50,000	0	イベント等出展者謝礼
		広告宣伝費	2,000,000	1,500,000	500,000	新聞・雑誌等広告掲載料
		租税公課費	27,000	27,000	0	契約書等印紙代 5,000 公用車重量税(プロモーションカー) 22,000
		手数料	115,000	115,000	0	イベント出展手数料 100,000 公用車車検代行手数料(プロモーションカー) 15,000
		負担金	880,000	660,000	220,000	モンベル フレンドエリア負担金
		委託費	2,367,000	2,791,000	△ 424,000	DXシステム保守料 510,000 ホームページ保守管理委託料等 238,000 インフルエンサー等委託料 1,369,000 イベント等委託料 他 0 モニターツアー等委託料 250,000

支出の部

(単位:円)

科目			本年度予算額	前年度予算額	比較	摘要	
大科目	中科目	小科目					
	日本酒発祥の地(発酵のまちづくり事業)		900,000	900,000	0		
		消耗品費	700,000	0	700,000	トートバッグ購入700,000	
		印刷製本費	0	500,000	△ 500,000	パンフレット等増刷	
		広告宣伝費	0	300,000	△ 300,000	新聞・雑誌等広告掲載料	
		食糧費	30,000	0	30,000	蔵出し式試食品30,000	
		委託費	170,000	100,000	70,000	案内看板設置170,000	
	しそブランドアンバサダー設置事業		900,000	900,000	0		
		臨時雇賃金	400,000	320,000	80,000	活動賃金	
		旅費交通費	68,000	68,000	0	活動旅費	
		消耗品費	111,000	260,000	△ 149,000	活動用消耗品	
		印刷製本費	20,000	20,000	0	募集チラシ作成	
		保険料	6,000	6,000	0	活動保険料	
		諸謝金	295,000	220,000	75,000	賞金等	
	フォトコンテスト事業		0	350,000	△ 350,000		
		通信運搬費	0	6,000	△ 6,000	郵券料	
		消耗品費	0	44,000	△ 44,000	入賞者商品代	
		印刷製本費	0	0	0	チラシ等印刷代	
		諸謝金	0	300,000	△ 300,000	コンテスト賞金等 コンテスト審査員謝礼0	
	ボランティア活動推進事業		50,000	50,000	0		
		負担金	50,000	50,000	0	施設利用(入浴施設)負担金	
	公的施設の管理運営事業			65,174,000	39,506,000	25,668,000	
	施設の管理事業		64,254,000	38,256,000	25,998,000		
		給料手当	21,272,000	21,195,000	77,000	給料・手当	
		福利厚生費	3,420,000	3,168,000	252,000	社会保険料等	
		通信運搬費	250,000	292,000	△ 42,000	郵券・送料	
		消耗品費	1,089,000	910,000	179,000	事務用消耗品等	
修繕費		30,230,000	4,871,000	25,359,000	モノレール等修繕費		
印刷製本費		100,000	150,000	△ 50,000	プログラム・パンフレット印刷代		
燃料費		250,000	250,000	0	公用車燃料代		
光熱水費		2,200,000	2,200,000	0	電気・水道・ガス代		
賃借料		17,000	17,000	0	公用車リース料		
保険料		700,000	570,000	130,000	入園者傷害保険等		
諸謝金		15,000	15,000	0	講師等謝金		
租税公課		1,500,000	1,489,000	11,000	消費税等		
手数料		31,000	31,000	0	振込手数料等		
負担金		160,000	78,000	82,000	各種会費等		
委託費		3,020,000	3,020,000	0	モノレール等保守管理		
体験プログラム事業			920,000	1,250,000	△ 330,000		
		旅費交通費	10,000	11,000	△ 1,000	出張旅費	
	通信運搬費	14,000	11,000	3,000	郵券料		
	消耗品費	613,000	600,000	13,000	プログラム材料費		
	修繕費	0	15,000	△ 15,000	備品等修理代		
	印刷製本費	150,000	22,000	128,000	イベントチラシ印刷代		
	食糧費	12,000	0	12,000	プログラム食材費		

支出の部

(単位:円)

科目			本年度予算額	前年度予算額	比較	摘要
大科目	中科目	小科目				
		保険料	50,000	27,000	23,000	ボランティア傷害保険
		諸謝金	70,000	130,000	△ 60,000	費用弁償
		広告宣伝費	0	0	0	新聞折込等
		手数料	1,000	0	1,000	
		負担金	0	0	0	研修参加負担金
		委託費	0	264,000	△ 264,000	マイクロバス運転委託料・警備費用
		助成金	0	170,000	△ 170,000	ボランティア活動助成
収益事業会計等			75,000	75,000	0	
収益事業会計			75,000	75,000	0	
	土地の賃貸借		75,000	75,000	0	
		租税公課	75,000	75,000	0	
その他事業会計			4,410,000	4,250,000	160,000	
観光地域づくり支援事業			4,410,000	4,250,000	160,000	
	やまたびエクスプレス事業		336,000	336,000	0	
		広告宣伝費	110,000	110,000	0	新聞等掲載
		助成金	226,000	226,000	0	ツアーバス運行助成等
	宍粟50名山ファンクラブ事業		612,000	612,000	0	
		通信運搬費	52,000	42,000	10,000	会員通知郵券料
		消耗品費	70,000	80,000	△ 10,000	ファンクラブ登山会参加記念品
		保険料	24,000	24,000	0	傷害保険料
		委託料	466,000	466,000	0	ファンクラブ登山ガイド委託料等
	イベント助成(賛助会員事業)		1,300,000	1,100,000	200,000	
		通信運搬費	34,000	34,000	0	郵券料
		消耗品費	66,000	50,000	16,000	会員用ステッカー等
		印刷製本費	200,000	0	200,000	観光イベントチラシ等印刷費
		広告宣伝費	0	0	0	SNS等広告掲載料
		委託料	0	266,000	△ 266,000	パンフレット作成
		助成金	1,000,000	750,000	250,000	イベント助成
	地域おこし協力隊事業		120,000	1,500,000	△ 1,380,000	
		旅費	0	210,000	△ 210,000	旅費(全国交流会旅費等)
		通信運搬費	15,000	14,000	1,000	郵券・送料等
		消耗什器備品費	0	50,000	△ 50,000	活動備品等
		消耗品費	80,000	256,000	△ 176,000	活動用消耗品等
		印刷製本費	0	80,000	△ 80,000	活動用消耗品等
		燃料費	10,000	180,000	△ 170,000	公用車燃料代
		賃借料	15,000	510,000	△ 495,000	イベント用備品等リース料・家賃
		負担金	0	20,000	△ 20,000	研修負担金
		委託料	0	100,000	△ 100,000	イベント企画等委託料
		雑費	0	80,000	△ 80,000	交流費用等
	観光案内人育成事業		20,000	20,000	0	
		助成金	20,000	20,000	0	ガイド等活動助成
	サイクルツーリズム事業		2,022,000	682,000	1,340,000	
		旅費交通費	33,000	0	33,000	宿泊費
		消耗什器備品費	0	0	0	E-BIKE購入費
		消耗品費	342,000	4,000	338,000	E-BIKE用消耗品等
		修繕費	33,000	60,000	△ 27,000	メンテナンス費用

支出の部

(単位:円)

科目			本年度予算額	前年度予算額	比較	摘要
大科目	中科目	小科目				
		印刷製本費	6,000	0	6,000	パンフレット等印刷代
		食糧費	419,000	0	419,000	イベント食糧費
		賃借料	0	125,000	△ 125,000	事業所貸付料
		保険料	256,000	293,000	△ 37,000	財産保障保険(本体盗難等) 149,000 賠償責任保険・利用者傷害等保険 107,000
		委託費	933,000	200,000	733,000	イベントインフルエンサー委託
		手数料	0	0	0	オンライン決済手数料
法人会計			16,375,000	16,210,000	165,000	
法人会計			16,375,000	16,210,000	165,000	
	協会の運営		16,375,000	16,210,000	165,000	
		役員報酬	4,847,000	4,847,000	0	役員報酬
		給与手当	7,657,000	7,081,000	576,000	給料・手当
		職員退職給付費用	168,000	0	168,000	
		福利厚生費	1,213,000	1,792,000	△ 579,000	社会保険料等
		旅費交通費	324,000	324,000	0	理事・監事等旅費
		会議費	11,000	11,000	0	会議用お茶代等
		通信運搬費	48,000	48,000	0	電話代 36,000 郵券料 12,000
		消耗品費	38,000	38,000	0	事務用消耗品等
		修繕費	10,000	10,000	0	公用車修繕料
		燃料費	180,000	180,000	0	公用車燃料代
		光熱水費	792,000	792,000	0	電気使用料
		賃借料	456,000	456,000	0	公用車リース料 436,000 会計ソフトリース料 20,000
		保険料	29,000	29,000	0	公用車任意保険料
		租税公課費	10,000	10,000	0	各種契約収入印紙
		手数料	100,000	100,000	0	振込手数料等
		負担金	227,000	227,000	0	「地域活性化センター」賛助会費 3,000 会計ソフト会員料 75,000 社会保険協会会費 4,000 消費税ソフト会員料 17,000 西播磨ツーリズム振興協議会会費 60,000 ひょうご観光本部会費 50,000 自家用車協会会費 8,000 研修会参加負担金 10,000
		委託費	265,000	265,000	0	法人税申告書作成委託料 165,000 登記等変更委託料 100,000
当期支出合計			113,493,000	87,299,000	26,194,000	
当期収支差額			△ 830,000	0	△ 830,000	

資金調達及び設備投資の見込み
(令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで)

1 資金調達の見込みについて

期中に借入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

当年度における設備投資の予定

事業 番号		設備投資の内容	支出予定額	資金調達方法
公益 目的 事業 会計	森林セラピー事業	消耗什器備品の購入 (セラピーコース用備品)	60 千円	補助金収入を充てる
	観光PR事業	消耗什器備品の購入 (観光プラットフォーム推進用 パソコン等)	150 千円	補助金収入を充てる
その他 事業 会計	地域おこし協力隊 事業	消耗什器備品の購入 (地域活動用備品)	0 千円	補助金収入を充てる

報告第11号

公益財団法人宍粟市文化振興財団令和7年度決算書及び令和8年度事業計画書等の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項及び地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第173条の5第1項の規定により、公益財団法人宍粟市文化振興財団の令和7年度決算書及び令和8年度事業計画書等を提出する。

令和8年7月16日提出

宍粟市長 福 元 晶 三

令和7年度

事業報告書

(公財)宍粟市文化振興財団

令和7年度事業報告

※事業の概要

急速に変化する社会とともに文化の形・市民のニーズも多種多様化し、また日常生活においてもリモート化・オンライン化が進んでおります。

今年度においては、ソーシャルメディア等を活用し減少した利用者を取り戻すため市民により多くの情報を発信し利用を促すとともに、市民に喜んでいただける本物の芸術・文化活動に触れる場、創造の場を提供・啓発・普及する場を提供し、市民一人一人が気軽に参加し、交流・実践出来る場づくりの実現に向け努めた。

※事業の内容

1. 第44回春の芸能祭

(宍粟市山崎文化協会と共催)

2. ミニ・ギャラリーの開催

① 山楽会展

(1) とき 令和7年4月17日～令和7年4月20日

(2) 内容 山楽会会員による書道の展示 5点

② 己書 宍粟繁盛道場ミニ作品展

(1) とき 令和7年4月23日～令和7年4月30日

(2) 内容 筆文字による作品展(色紙・はがき) 78点

③ 利舟会十歩展

(1) とき 令和7年6月10日～令和7年6月29日

(2) 内容 書道愛好家による作品展 41点

④ 押し花絵額展示

(1) とき 令和7年7月8日～7月20日

(2) 内容 押し花愛好家による作品展 36点

⑤ 大山書道会展

(1) とき 令和7年10月14日～10月25日

(2) 内容 書道愛好家による作品展 31点

⑥ クラブ・ピカソ展

(1) とき 令和7年11月4日～11月14日

(2) 内容 クラブ・ピカソ会員による絵画作品展 30点

⑦ クリスマスツリー展示作品展

(1) とき 令和7年12月5日～12月27日

(2) 内容 手作りクリスマスオーナメント作品展 62点

⑧ 宍粟美術協会部別展覧会

(1) とき 令和8年1月17日～3月28日

(2) 内容 洋画・日本画・写真・書・工芸等の部門別作品展 126点

3. 文化講座の開催

- | | |
|----------|-----------------------|
| ①絵画教室 | 毎月第1・第3水曜日 |
| ②和太鼓自主教室 | 毎週火・水・木曜日（月4回） |
| ③篠笛教室 | 毎月第1・第3木曜日、毎月第2・第4木曜日 |
| ④ウクレレ教室 | 毎月第1・第3金曜日 |
| ⑤話し方教室 | 5月～12月 第1金曜日（全8回） |

4. 文化情報の提供

地域住民に文化情報を提供し、芸能文化の理解と関心を高め、文化活動への参加を促すため、会館ニュースを年6回（各16,500部）発行し、市内全戸配布、近隣施設・文化団体への送付等によりPR、宍粟市シーたん放送・新聞社等メディアに記事、また、SNS（ソーシャルメディア インスタグラム・X等）で情報拡散し事業の集客に努めた。

また、館内にポスター掲示スペースやチラシ立てを増やし、来館者に宍粟市以外の文化情報の提供に努めた。

5. 文化振興事業の開催

（別表 文化振興事業開催結果一覧表）

6. 受託事業

- （1） 秋のふれあい文化祭

7. ボランティアの活動

- （1） ホールサポートスタッフ（14名）

職員数が絶対的に足りないため、事業開催時には欠かせない存在になっている。

舞台運営（企画）・客席案内・もぎり・アナウンス等裏方として、ホールの催しを支えている。

8. 施設の利用状況

会館利用については利用料金・利用率・利用人数ともかなり落ち込んでいたが、漸く少しずつではあるが、利用料・利用率・利用人数が向上してきている。特に会館利用料の値上げにより利用料金の回復が現状に近い形に戻ってきている。

今後も、多くの市民にご利用いただけるよう、より一層職員一同効率的な運営、きめ細やかなサービス向上に努めたい。

（会館利用料金・利用率・利用人数については、別紙記載）

9. 施設業務管理について

会館の施設管理については、専門技術を要するため衛生・清掃・電気・舞台（照明・音響・吊物・ピアノ）・地下タンク・建築設備等について、専門業者との委託契約により利用者の安全と効率的な運営に努めた。

（委託業務については、別紙記載）

令和7年度文化振興事業開催結果

(単位:円)

NO	開催日	事業名	入場料等	収入	支出	差異	入場券売上数等	備考
1	4月6日 (日)	(住民企画事業)第16回森の国オカリナフェスティバル	参加料(ソロ) 4,000円 (アンサンブル)2,500円 入場料 1,000円	693,700	912,493	△ 218,793	385人(出演者含む)	
2	5月18日 (日)	第44回春の芸能祭	参加料5,000円 舞台運営委託料2000円	213,000	311,767	△ 98,767	251人(出演者含む)	宍粟市山崎文化協会共催
3	6月8日 (日)	(住民企画事業)ハリマハワイアンフェスティバル2025	参加料 1,500円	655,500	862,410	△ 206,910	807人(出演者含む)	
4	6月12日 (木)	宍粟市やまさき文化大学音楽鑑賞講座(ジャズ)		180,000	153,200	26,800	142人	宍粟市やまさき文化大学団体鑑賞
5	6月22日 (日)	映画「ROUTE29」	大人 800円 高校生以下500円	1,035,300	455,987	579,313	1049人	宍粟市共催
6	6月26日・27日	人形劇団ブーク「ぼちぼちいこか」「三びきのやぎのがらがらどん」(2回)	大人1,000円 高校生以下500円 ワークショップ1,500円	282,200	809,432	△ 527,232	469人	
7	7月20日 (日)	大阪桐蔭高等学校吹奏楽部コンサート(2回)	大人 2,000円 高校生以下1,000円	1,866,000	1,627,667	238,333	1,090人(介助者含む)	
8	8月31日 (日)	第18回桂吉弥独演会	2,000円	928,260	809,788	118,472	487人(介助者含む)	
9	9月7日 (日)	ブラックボトムプラスバンドライブニューアルバム「はればれ」リリースツアーただいま！宍粟	大人 2,500円 高校生以下1,000円(当日500円UP)	0	10,520	△ 10,520		メンバー体調不良により中止
10	10月4日 (土)	映画「35年目のラブレター」	大人 800円 高校生以下500円	635,300	545,687	89,613	764人(介助者含む)	宍粟市やまさき文化大学団体鑑賞
11	10月5日 (日)	ベーゼンドルファーを弾いてみよう	1時間2,000円	8,000	37,101	△ 29,101	4枠申込	
12	10月18日 (土)	しそうバンドフェスタ2025	無料	0	114,111	△ 114,111	469人(出演者含む)	宍粟市吹奏楽連盟共催
13	10月26日 (日)	宍粟市出身アーティスト支援事業「ほのカルテットリサイタル」	3,000円	1,259,400	1,333,291	△ 73,891	423人(介助者含む)	
	小学校訪問ふれあいコンサート			500,000	667,940	△ 167,940		(一財)にしん地域振興財団補助金
14	11月4日 (火)	小学校訪問ふれあいコンサート(神野小学校)2回公演	無料				95人	
15	11月5日 (水)	小学校訪問ふれあいコンサート(河東小学校)3回公演	無料				118人	
16	11月6日 (木)	小学校訪問ふれあいコンサート(河東小学校)3回公演	無料				126人	
17	11月7日 (金)	小学校訪問ふれあいコンサート(蔦沢学校)2回公演	無料				79人	
18	12月6日 (土)	クリスマスファミリーコンサート	無料	0	794,691	△ 794,691	365人	宍粟市民・友の会会員招待
19	12月14日 (日)	第4回山崎文化会館篠笛教室発表会	無料	0	13,063	△ 13,063	63人(出演者含む)	研修室で実施
20	2月15日 (日)	住民企画事業「第16回宍粟和太鼓フェスティバル」	参加料大人5,000円 小学生以下4,000円	343,000	470,394	△ 127,394	701人(出演者含む)	宍粟市文化協会補助金
21	2月18日 (水)	フルーツ体験ワークショップ(神野小学校5.6年生)	無料	0	8,000	△ 8,000	31人	村松楽器販売株式会社協力
22	3月1日 (日)	第31回しそうの森合唱祭	参加料 2,000円	38,000	356,694	△ 318,694	283人(出演者含む)	宍粟市文化協会補助金
23	①5/31②12/13 ③3/21	管楽器打楽器合同講習会	無料	0	384,710	△ 384,710	255人(出演者含む)	市内中学校吹奏楽部対象、宍粟市吹奏楽団と共催
24	11月1日 (土)	クリスマスオーナメント作成教室	材料/1個150円. 2個200円	6,900	14,228	△ 7,328	36人参加	
25	5月～12月(全8回)	話し方教室	1,000円(1回)	139,000	133,600	5,400	延べ139人	
26	第1・3水曜日	絵画教室	月謝 2,000円	248,000	272,600	△ 24,600	月平均10人受講	
27	毎週火・水・木曜日	和太鼓教室(8教室)	月謝 5,500円 4,000円	5,460,400	5,326,000	134,400	月平均81人受講	

28	毎週木曜日	篠笛教室(4教室)	月謝 3,000円	738,180	725,500	12,680	月平均18人 受講	
29	第1・第3金曜日	ウクレレ教室(2教室)	月謝 2,000円	192,000	158,500	33,500	月平均8人 受講	
30		友の会	会費 1,000円	362,000	0	362,000	会員数362 人	
自主事業合計				15,784,140	17,309,374	△ 1,525,234		
その他事業関連収支				180,000	10,140,775	△ 9,960,775		
				15,964,140	27,450,149	△ 11,486,009		

施 設 業 務 管 理 契 約

業 務 名	業 務 内 容	点検回数
舞台ピアノ保守点検	オーバーホール(分解・清掃)し、調律・整音	年1回
冷暖房用吸収式冷温水機保守点検	冷暖房の切替及び中間期の点検	年4回
舞台調光装置保守点検	照明卓及び照明コンセントの電圧・電流検査	年1回
舞台吊物保守点検	舞台上部吊物のワイヤーの亀裂、劣化及び綱元点検	年6回
機械防犯警備	夜間(閉館時)センサーによる建物内機械警備	毎日
舞台操作委託契約	ホール使用時の舞台・音響・照明操作及び使用打合せ	年120回
清掃業務委託契約	敷地及び建物内清掃	開館指定日
ビル衛生管理業務委託契約	空気環境測定・害虫駆除・貯水槽清掃・飲料水検査他	年10回
特殊建築物定期点検	建築・設備の定期点検	年1回
地下タンク定期点検	冷暖房用灯油地下タンクの漏洩検査	年1回
消防設備等点検契約	消防設備の定期点検	年2回
ワックス・高所ガラス清掃契約	ワックス(2ヶ月1回)、高所ガラス(年1回)	年7回
自家用電気工作物定期点検	自家発及びキュービクル定期点検及び年次点検	年12回
夜間管理契約	夜間使用時の管理契約	夜間使用日
エレベーター保守点検契約	エレベーターの定期点検及びリモート点検(毎日)	年4回

令和 7 年度

収 支 決 算 書

(公財) 宍粟市文化振興財団

大科目		当初予算額	補正額	流用額	最新予算額	累計	公益1	収益1	法人	残額
基本財産運用収益		146,000	0	0	146,000	146,897	0	0	146,897	△ 897
	基本財産受取利息	146,000	0	0	146,000	146,897	0	0	146,897	△ 897
事業収益		68,187,000	1,403,000	0	69,590,000	70,798,542	60,011,229	5,387,313	5,400,000	△ 1,208,542
	自主事業収益	14,007,000	630,000	0	14,637,000	15,784,140	14,941,832	842,308	0	△ 1,147,140
	広告料収益	180,000	0	0	180,000	180,000		180,000	0	0
	受託事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定管理収益	33,300,000	0	0	33,300,000	33,300,000	27,900,000	0	5,400,000	0
	自主事業委託収益	12,000,000	0	0	12,000,000	12,000,000	12,000,000	0		0
	会館使用料収益	8,700,000	773,000	0	9,473,000	9,534,402	5,169,397	4,365,005	0	△ 61,402
退職給与引当金		0	12,640,000	0	12,640,000	12,639,069	12,639,069	0	0	931
	退職給与引当金	0	12,640,000	0	12,640,000	12,639,069	12,639,069	0	0	931
受取寄付金		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益		267,000	0	0	267,000	261,189	0	261,189	0	5,811
	受取利息	7,000	0	0	7,000	15,928	0	15,928	0	△ 8,928
	雑収益	260,000	0	0	260,000	245,261	0	245,261	0	14,739
収入合計		68,600,000	14,043,000	0	82,643,000	83,845,697	72,650,298	5,648,502	5,546,897	△ 1,202,697

大科目		現行予算額	補正額	流用額	最新予算額	累計	公益1	収益1	法人	残額
一般管理費		150,000	0	0	150,000	146,980	0	0	146,980	3,020
	旅費交通費	130,000	0	17,000	147,000	146,980	0	0	146,980	20
	福利厚生費	15,000	0	△ 15,000	0	0	0	0	0	0
	会議費	5,000	0	△ 2,000	3,000	0	0	0	0	3,000
管理運営事業費		42,517,000	13,413,000	592,000	56,522,000	56,258,106	46,758,488	3,876,418	5,623,200	263,894
	給料手当	13,474,000	660,000	14,000	14,148,000	14,147,378	12,025,271	707,369	1,414,738	622
	臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退職給付費用	120,000	0	0	120,000	120,000	102,000	6,000	12,000	0
	退職給付費用当期繰越額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退職金支出	0	12,640,000	0	12,640,000	12,639,069	10,743,209	631,953	1,263,907	931
	福利厚生費	2,359,000	113,000	0	2,472,000	2,471,237	2,100,551	123,562	247,124	763
	会議費	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
	旅費交通費	15,000	0	0	15,000	11,840	0	0	11,840	3,160
	通信運搬費	227,000	0	△ 14,000	213,000	196,275	98,138	9,813	88,324	16,725
	減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消耗什器備品費	0	0	510,000	510,000	509,558	254,779	25,478	229,301	442
	消耗品費	421,000	0	0	421,000	420,923	210,462	21,046	189,415	77
	修繕費	600,000	0	0	600,000	599,500	488,593	50,957	59,950	500
	印刷製本費	41,000	0	4,000	45,000	44,504	22,252	2,225	20,027	496
	燃料費	3,238,000	0	△ 554,000	2,684,000	2,571,915	2,096,111	218,613	257,191	112,085
	光熱水料費	6,296,000	0	408,000	6,704,000	6,637,386	5,409,470	564,178	663,738	66,614
	賃借料	588,000	0	0	588,000	566,274	283,137	28,314	254,823	21,726
	保険料(車)	33,000	0	0	33,000	31,280	15,640	1,564	14,076	1,720
	保険料(その他)	108,000	0	16,000	124,000	123,631	100,759	10,509	12,363	369
	諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	租税公課費(車)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	租税公課費(消費税等)	1,629,000	0	281,000	1,910,000	1,910,000	1,475,299	254,772	179,929	0
	支払手数料(車)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支払手数料(その他)	276,000	0	0	276,000	241,566	196,876	20,533	24,157	34,434
	支払負担金	62,000	0	0	62,000	61,000	49,715	5,185	6,100	1,000
	委託費(事業)	6,152,000	0	62,000	6,214,000	6,212,800	5,591,520	621,280	0	1,200
	委託費(その他)	6,877,000	0	△ 135,000	6,742,000	6,741,970	5,494,706	573,067	674,197	30

自主事業費		26,333,000	1,454,000	58,000	27,845,000	27,450,149	25,649,121	1,365,346	435,682	394,851
	給料手当	3,218,000	164,000	0	3,382,000	3,377,160	2,870,586	168,858	337,716	4,840
	臨時雇賃金	3,359,000	314,000	0	3,673,000	3,672,520	3,672,520			480
	退職金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福利厚生費	975,000	7,000	0	982,000	979,661	832,712	48,983	97,966	2,339
	会議費	290,000	37,000	13,000	340,000	338,662	338,662			1,338
	旅費交通費	20,000	0	45,000	65,000	64,470	64,470			530
	通信運搬費	228,000	0	0	228,000	216,942	216,942			11,058
	消耗品費	96,000	0	0	96,000	93,376	93,376	0		2,624
	印刷製本費	1,403,000	24,000	41,000	1,468,000	1,467,346	1,173,877	293,469		654
	賃借料	2,550,000	112,000	△ 41,000	2,621,000	2,353,561	2,243,911	109,650		267,439
	諸謝金	5,621,000	0	0	5,621,000	5,559,400	4,843,400	716,000		61,600
	租税公課費	405,000	0	0	405,000	405,000	405,000			0
	支払手数料	127,000	15,000	0	142,000	141,930	113,544	28,386		70
	委託費	8,041,000	781,000	0	8,822,000	8,780,121	8,780,121			41,879
予備費		100,000	552,000	△ 650,000	2,000	0	0	0	0	2,000
	予備費	100,000	552,000	△ 650,000	2,000	0	0	0	0	2,000
支出合計		69,100,000	15,419,000	0	84,519,000	83,855,235	72,407,609	5,241,764	6,205,862	663,765

前期繰越収支差額		500,000	1,376,000	0	1,876,000	1,876,651	1,876,651	0	0	△ 651
	前期繰越収支差額	500,000	1,376,000	0	1,876,000	1,876,651	1,876,651	0	0	△ 651

正味財産増減計算書
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用収益	146,897	31,057	115,840
特定資産運用益			
特定資産受取利息			
事業収入			
自主事業収益	15,784,140	16,101,210	△ 317,070
広告料収益	180,000	210,000	△ 30,000
受託事業収益			0
指定管理料収益	33,300,000	33,400,000	△ 100,000
自主事業助成金	12,000,000	11,900,000	100,000
会館使用料収益	9,534,402	9,117,491	416,911
受取寄付金			
受取寄付金			
雑収益			
受取利息	15,928	4,878	11,050
雑収益	245,261	268,362	△ 23,101
経常収益計	71,206,628	71,032,998	173,630
(2) 経常費用			
事業費	66,202,211	67,866,672	△ 1,664,461
給料手当	15,772,084	15,684,715	87,369
臨時雇賃金	3,672,520	3,345,576	326,944
退職給付費用	108,000	108,000	0
退職給付費用当期繰越額	0	0	0
福利厚生費	3,105,808	3,036,202	69,606
会議費	338,662	47,511	291,151
旅費交通費	64,470	14,524	49,946
通信運搬費	324,893	284,651	40,242
減価償却費	0	0	0
消耗品什器備品費	280,257	376,475	△ 96,218
消耗品費	324,884	357,916	△ 33,032
修繕費	539,550	2,592,909	△ 2,053,359
印刷製本費	1,491,823	1,402,580	89,243
燃料費	2,314,724	2,484,535	△ 169,811
光熱水料費	5,973,648	5,306,023	667,625
賃借料	2,665,012	2,759,361	△ 94,349
保険料(車)	17,204	17,765	△ 561
保険料(その他)	111,268	92,061	19,207
諸謝金	5,559,400	5,552,300	7,100
租税公課(車)	0	0	0
租税公課(消費税等)	2,063,071	2,052,207	10,864
支払手数料(車)	0	0	0
支払手数料(その他)	359,339	240,082	119,257
支払負担金	54,900	53,100	1,800
委託費(事業)	14,992,921	16,147,005	△ 1,154,084
委託費(その他)	6,067,773	5,911,174	156,599
管理費	4,941,955	5,084,585	△ 142,630
役員報酬			0
給料手当	1,752,454	1,742,747	9,707
臨時雇賃金	0	0	0
退職手当給付費用	12,000	12,000	0
退職給与引当金当期繰越額	0	0	0
福利厚生費	345,090	337,355	7,735
会議費	0	2,651	△ 2,651
旅費交通費	158,820	87,740	71,080
通信運搬費	88,324	74,071	14,253
原価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	229,301	308,025	△ 78,724
消耗品費	189,415	212,453	△ 23,038

修繕費	59,950	288,101	△ 228,151
印刷製本費	20,027	8,690	11,337
燃料費	257,191	276,059	△ 18,868
光熱水料費	663,738	589,558	74,180
賃借料	254,823	264,094	△ 9,271
保険料(車)	14,076	14,535	△ 459
保険料(その他)	12,363	10,228	2,135
諸謝金	0	0	0
租税公課費(車)	0	0	0
租税公課費(消費税等)	179,929	176,893	3,036
支払手数料(車)	0	0	0
支払手数料(その他)	24,157	16,688	7,469
支払負担金	6,100	5,900	200
委託費(事業)	0	0	0
委託費(その他)	674,197	656,797	17,400
経常費用計	71,144,166	72,951,257	△ 1,807,091
当期経常増減額	62,462	△ 1,918,259	1,980,721
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金振替額	12,639,069	0	12,639,069
経常外収益計	12,639,069	0	12,639,069
(2) 経常外費用			
退職給付費用	12,639,069	0	12,639,069
経常外費用計	12,639,069	0	12,639,069
当期経常外増減額	0		
他会計振替額	0		
税引前一般正味財産増減額	62,462	△ 1,918,259	
法人税等	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,538	△ 1,990,259	1,980,721
一般正味財産期首残高	1,926,651	3,916,910	△ 1,990,259
一般正味財産期末残高	1,917,113	1,926,651	△ 9,538
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	12,639,069		12,639,069
当期指定正味財産増減額	△ 12,639,069		△ 12,639,069
指定正味財産期首残高	73,448,500	73,448,500	0
指定正味財産期末残高	60,809,431	73,448,500	△ 12,639,069
III 正味財産期末残高	62,726,544	75,375,151	△ 12,648,607

正味財産増減計算書内訳表
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

	公益目的 事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取 引消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			146,897		146,897
基本財産受取利息			146,897		146,897
事業収入	60,011,229	5,387,313	5,400,000		70,798,542
自主事業収入	14,941,832	842,308	0		15,784,140
広告料収入	0	180,000	0		180,000
受託事業収入	0	0	0		0
指定管理料収入	27,900,000	0	5,400,000		33,300,000
自主事業助成金	12,000,000	0	0		12,000,000
文化会館使用料収入	5,169,397	4,365,005	0		9,534,402
受取寄付金	0	0	0		0
受取寄付金	0	0	0		0
雑収益	0	261,189	0		261,189
受取利息	0	15,928	0		15,928
雑収入	0	245,261	0		245,261
経常収益計	60,011,229	5,648,502	5,546,897		71,206,628
(2) 経常費用					
事業費	61,664,400	4,537,811	0		66,202,211
給料手当	14,895,857	876,227			15,772,084
臨時雇賃金	3,672,520	0			3,672,520
退職給付費用	102,000	6,000			108,000
退職給与引当金繰入額	0	0			0
福利厚生費	2,933,263	172,545			3,105,808
会議費	338,662	0			338,662
旅費交通費	64,470	0			64,470
通信運搬費	315,080	9,813			324,893
減価償却費	0	0			0
消耗什器備品費	254,779	25,478			280,257
消耗品費	303,838	21,046			324,884
修繕費	488,593	50,957			539,550
印刷製本費	1,196,129	295,694			1,491,823
燃料費	2,096,111	218,613			2,314,724
光熱水料費	5,409,470	564,178			5,973,648
賃借料	2,527,048	137,964			2,665,012
保険料(車)	15,640	1,564			17,204
保険料(その他)	100,759	10,509			111,268
諸謝金	4,843,400	716,000			5,559,400
租税公課(車)	0	0			0
租税公課(消費税等)	1,880,299	182,772			2,063,071
支払手数料(車)	0	0			0
支払手数料(その他)	310,420	48,919			359,339
支払負担金	49,715	5,185			54,900
委託費(事業)	14,371,641	621,280			14,992,921
委託費(その他)	5,494,706	573,067			6,067,773
管理費			4,941,955		4,941,955
役員報酬					0
給料手当			1,752,454		1,752,454
臨時雇賃金			0		0
退職給付費用			12,000		12,000
退職給与引当金繰入額			0		0
福利厚生費			345,090		345,090
会議費			0		0
旅費交通費			158,820		158,820
通信運搬費			88,324		88,324
減価償却費			0		0
消耗什器備品費			229,301		229,301
消耗品費			189,415		189,415
修繕費			59,950		59,950
印刷製本費			20,027		20,027

燃料費			257,191		257,191
光熱水道費			663,738		663,738
賃借料			254,823		254,823
保険料(車)			14,076		14,076
保険料(その他)			12,363		12,363
諸謝金			0		0
租税公課(車)			0		0
租税公課(消費税等)			179,929		179,929
支払手数料(車)			0		0
支払手数料(その他)			24,157		24,157
支払負担金			6,100		6,100
委託費(事業)			0		0
委託費(その他)			674,197		674,197
経常費用計	61,664,400	4,537,811	4,941,955		71,144,166
評価損益等調整前当期	△ 1,653,171	1,110,691	604,942		62,462
当期経常増減額	△ 1,653,171	1,110,691	604,942		62,462
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
受取寄付金振替額	12,639,069	0	0		12,639,069
経常外収益計	12,639,069	0	0		12,639,069
(2) 経常外費用					
退職給付費用	10,743,209	631,953	1,263,907		12,639,069
経常外費用計	10,743,209	631,953	1,263,907		12,639,069
当期経常外増減額					0
他会計振替額	385,973	△ 385,973			0
税引前一般正味財産増減額	628,662	92,765	△ 658,965		62,462
法人税等		72,000			72,000
当期一般正味財産増減額	628,662	20,765	△ 658,965		△ 9,538
一般正味財産期首残高	2,938,748	2,199,831	△ 3,211,928		1,926,651
一般正味財産期末残高	3,567,410	2,220,596	△ 3,870,893		1,917,113
Ⅱ 指定正味財産増減の部					0
一般正味財産への振替額	12,639,069	0	0		12,639,069
当期指定正味財産増減額	△ 12,639,069	0	0		△ 12,639,069
指定正味財産期首残高	73,448,500	0	0		73,448,500
指定正味財産期末残高	60,809,431	0	0		60,809,431
Ⅲ 正味財産期末残高	64,376,841	2,220,596	△ 3,870,893		62,726,544

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産については定額法で減価償却を行っています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 会計方針の変更

当期より、一般社団法人及び一般社団法人に関する法律並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の関連する規定に基づく会計基準に変更した。

3 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
固定資産				
基本財産	73,448,500		12,639,069	60,809,431
特定資産				
退職給付引当資産	5,857,379	175,672		6,033,051
その他の固定資産				
法人出資金	50,000	0	0	50,000
合 計	79,355,879	175,672	12,639,069	66,892,482

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に 対応する額)
固定資産				
基本財産	60,809,431	60,809,431	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	6,033,051	0	0	6,033,051
その他の固定資産				
法人出資金	50,000	0	50,000	0
合 計	66,892,482	60,809,431	50,000	6,033,051

5 指定管理料等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

名 称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 掲載区分
指定管理料	宍粟市	0	33,300,000	33,300,000	0	
自主事業助成金	宍粟市	0	12,000,000	12,000,000	0	

6 担保に供している資産

該当なし

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

8 保証債務等の偶発債務

該当なし

9 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし

10 関連当事者との取引の内容
該当なし

11 重要な後発事象
該当なし

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,576,054	6,392,411	12,183,643
未収入金	0	0	0
前払金	0	0	0
貯蔵金		0	0
仮払金		0	0
流動資産合計	18,576,054	6,392,411	12,183,643
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産引当預金	60,809,431	73,448,500	△ 12,639,069
(2)特定資産			
退職給付引当資産	6,033,051	5,857,379	175,672
(3)その他固定資産			
出資金	50,000	50,000	0
固定資産合計	66,892,482	79,355,879	△ 12,463,397
資産合計	85,468,536	85,748,290	△ 279,754
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	13,448,012	1,648,515	11,799,497
前受金	1,692,501	1,223,591	468,910
預り金	370,428	334,654	35,774
未払い消費税	1,126,000	1,237,000	△ 111,000
未払い法人税	72,000	72,000	0
流動負債合計	16,708,941	4,515,760	12,193,181
2. 固定負債			
退職給与引当金	6,033,051	5,857,379	175,672
運営資金引当金	0	0	0
固定負債合計	6,033,051	5,857,379	175,672
負債合計	22,741,992	10,373,139	12,368,853
III 正味財産の部			
1. 基金		0	0
(うち基本財産への充当額)	()	()	
(うち特定財産への充当額)	()	0)	0
2. 指定正味財産	60,809,431	73,448,500	△ 12,639,069
(うち基本財産への充当額)	(60,809,431)	(73,448,500)	
(うち特定財産への充当額)	()	()	)
3.一般正味財産	1,917,113	1,926,651	△ 9,538
(うちその他固定財産への充当額)	(0)	()	
(うち特定財産への充当額)	(1,917,113)	(1,926,651)	
正味財産合計	62,726,544	75,375,151	△ 12,648,607
負債及び正味財産合計	85,468,536	85,748,290	△ 279,754

令和7年度山崎文化会館使用率

月 (開館日数)	使用場所	ホール	リハーサル室	研修室	会議室	和 室	茶 室	楽 屋	特別会議室	利用者数合計
4月 (26)	使用回数	18	20	11	13	19	11	9	4	3,057
	使用率	69.2%	76.9%	42.3%	50.0%	73.1%	42.3%	34.6%	15.4%	
	利用者数	1,380	483	409	305	280	51	108	41	
5月 (27)	使用回数	19	23	12	14	15	7	10	3	3,411
	使用率	70.4%	85.2%	44.4%	51.9%	55.6%	25.9%	37.0%	11.1%	
	利用者数	1,899	493	425	184	250	29	111	20	
6月 (25)	使用回数	20	22	13	15	19	9	15	5	6,903
	使用率	80.0%	88.0%	52.0%	60.0%	76.0%	36.0%	60.0%	20.0%	
	利用者数	4,878	624	647	220	304	36	154	40	
7月 (27)	使用回数	22	24	14	16	21	9	12	8	6,256
	使用率	81.5%	88.9%	51.9%	59.3%	77.8%	33.3%	44.4%	29.6%	
	利用者数	3,798	820	886	201	301	44	135	71	
8月 (27)	使用回数	13	20	10	12	13	7	9	4	2,936
	使用率	48.1%	74.1%	37.0%	44.4%	48.1%	25.9%	33.3%	14.8%	
	利用者数	1,484	557	421	154	186	31	81	22	
9月 (25)	使用回数	20	21	17	14	18	4	11	4	6,679
	使用率	80.0%	84.0%	68.0%	56.0%	72.0%	16.0%	44.0%	16.0%	
	利用者数	3,165	687	1,458	853	308	21	149	38	
10月 (27)	使用回数	22	20	17	17	19	8	10	2	8,846
	使用率	81.5%	74.1%	63.0%	63.0%	70.4%	29.6%	37.0%	7.4%	
	利用者数	4,278	465	2,294	1,348	309	30	106	16	
11月 (26)	使用回数	24	25	19	24	21	16	16	7	10,224
	使用率	92.3%	96.2%	73.1%	92.3%	80.8%	61.5%	61.5%	26.9%	
	利用者数	4,686	842	2,180	1,759	511	69	151	26	
12月 (24)	使用回数	20	18	13	14	18	7	11	5	4,282
	使用率	83.3%	75.0%	54.2%	58.3%	75.0%	29.2%	45.8%	20.8%	
	利用者数	2,349	454	608	414	266	35	100	56	
1月 (24)	使用回数	19	18	5	13	17	9	10	6	3,898
	使用率	79.2%	75.0%	20.8%	54.2%	70.8%	37.5%	41.7%	25.0%	
	利用者数	2,599	392	238	185	249	35	124	76	
2月 (24)	使用回数	20	18	8	12	16	5	9	5	4,268
	使用率	83.3%	75.0%	33.3%	50.0%	66.7%	20.8%	37.5%	20.8%	
	利用者数	2,828	660	257	147	212	18	112	34	
3月 (26)	使用回数	17	18	11	13	16	7	12	5	3,602
	使用率	65.4%	69.2%	42.3%	50.0%	61.5%	26.9%	46.2%	19.2%	
	利用者数	1,750	606	557	277	236	27	102	47	
合計	使用回数	234	247	150	177	212	99	134	58	1,311
	使用人数	35,094	7,083	10,380	6,047	3,412	426	1,433	487	
平均	使用回数	23.4	20.6	12.5	14.8	17.7	8.3	11.2	4.8	5,364
	使用率	76.0%	80.2%	48.7%	57.5%	68.8%	32.1%	43.5%	18.8%	
	利用者数	2,925	590	865	504	284	36	119	41	

令和7年度(公財)宍粟市文化振興財団収支決算書

参考

収支決算書総括表

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

1. 収入の部

収入の部 85,722,348

支出の部 83,855,235

差引合計 1,867,113

科 目	一 般 会 計
基本財産運用益	146,897
事業収入	70,798,542
退職給与引当金	12,639,069
受取寄付金	0
雑収益	261,189
前期繰越収支差額	1,876,651
収入合計	85,722,348

2. 支出の部

科 目	一 般 会 計
一般管理費	146,980
管理運営事業費	56,258,106
自主事業費	27,450,149
予備費	0
支出合計	83,855,235

令和 8 年度

事業計画・収支予算書

(公財)宍粟市文化振興財団

令和8年度事業計画書

公益財団法人宍粟市文化振興財団(山崎文化会館)

	開 催 日	事 業 名	備 考
講座・セミナー・育成事業	毎週木曜日	篠笛教室(第1・3木曜中級・上級、第2・4木曜入門・スキルアップ)	4教室
	第1・3金曜日	ウクレレ教室	2教室
	和太鼓教室		
	毎週火曜日	和太鼓教室(フィットネス・倭音)	2教室
	毎週水曜日	和太鼓教室(子ども中級・上級・弾紅)	3教室
	毎週木曜日	和太鼓教室(子ども初級・音羽・一般教室)	3教室
	5月～12月 全8回	話し方教室	1講座
	11月予定	クリスマスオーナメント作成講座	
	12月13日 (日)	第5回篠笛教室発表会	
	6月・11月・3月	管楽器打楽器合同講習会(3回)	宍粟市吹奏楽団と共催
体験活動等事業	小学校訪問ふれあいコンサート(2小学校)		フルート・ピアノ・ギター
	11月10～13日 (2小学校12公演)	山崎南小学校・山崎小学校	にしん地域振興財団と共催
主催公演事業 (住民参加型)	5月17日 (日)	第45回春の芸能祭	
	10月17日 (土)	しろうバンドフェスタ	
	3月7日 (日)	第32回しろうの森合唱祭	
(住民創造型)	4月5日 (日)	第17回森の国オカリナフェスティバル	住民企画事業
	6月7日 (日)	第14回ハリマハワイアンフェスティバル	住民企画事業
	2月14日 (日)	第17回宍粟和太鼓フェスティバル	住民企画事業
(鑑賞型)	5月31日 (日)	映画「てっぺんの向こうにあなたがいる」 (宍粟市やまさき文化大学映画鑑賞講座含む)	3回上映
	7月3日 (金)	人形劇団プーク(団体鑑賞)	1回公演
	7月19日 (日)	大阪桐蔭高等学校吹奏楽部コンサート	2回公演
	8月9日 (日)	ほのカルテット(弦楽四重奏)	宍粟市出身アーティスト支援事業(長田健志)
	8月30日 (日)	第19回桂吉弥独演会	
	10月4日 (日)	邦寿一人ライブ	宍粟市出身アーティスト支援事業(北本二三代)
	12月6日 (日)	HARMONY宍粟特別公演 元タカラジェンヌたちの饗宴2026	宍粟市出身アーティスト支援事業(森本文)
	12月3日 (木)	宍粟市やまさき文化大学音楽鑑賞講座	
	日程調整中	映画1本予定	3回上映

令和 8 年度 公益財団法人宍粟市文化振興財団事業計画書

公益財団法人宍粟市文化振興財団は、宍粟市の文化拠点施設の管理運営、優れた文化芸術鑑賞の提供ならびに市民の自主的文化活動の育成・支援等を行います。

事業運営については、透明性を高め、より質の高い文化振興事業を展開し幅広い年齢の市民から信頼を得るとともに、一層喜び、楽しんでいただける充実した事業展開を図ります。

令和 8 年度事業計画策定にあたりましては、市民の自主的な文化活動を育成・支援し、宍粟市の地域文化活動の一層の活性化を図るため、宍粟市が策定した社会教育振興計画と密接に連携し、当財団の果たすべき役割、公益法人として求められている社会的要請に応える事業を展開します。

基本理念

宍粟市における芸術文化の振興を図り、もって地域文化の創造に寄与する。

定款に定める事業（第 4 条関係）

- (1) 芸術文化鑑賞事業及び各種芸術講座の開催
- (2) 地域住民の文化活動の育成・援助
- (3) 芸術文化に関する情報の提供
- (4) 文化施設の管理運営の受託
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

事業内容

- 1 芸術文化鑑賞事業及び各種芸術講座の開催（第 4 条第 1 号関係）
市民に廉価で芸術性の高い舞台公演や講座を開催し、独自の文化の高揚と育成を図るように努めます。
- 2 地域住民の文化活動の育成・援助（第 4 条第 2 号関係）
 - (1) 文化教室・講座は新たな文化知識、創造力を養い住民主体の文化活動の育成を図り、芸術文化の振興に寄与するよう努めます。
 - (2) 宍粟市で活動する舞台芸術家の活動の機会・発表の場を設け、地域文化の普及・発展に努めます。
 - (3) 地域住民に身近で優れた芸術文化に触れる機会を低廉な料金で提供し、芸術文化の振興に貢献できるよう努めます。
- 3 芸術文化に関する情報の提供（第 4 条 3 号関係）
会館ニュースの全戸配布、事業開催時のチラシ配布、しーたん放送、新聞、ソーシャルメディアを利用し広く市民への情報提供に努めます。
- 4 文化施設の管理運営の受託（第 4 条 4 号関係）
文化施設の効率的な運営、きめ細やかなサービス、また専門業者との委託契約により利用者の安全と効率的な運営に努めます。

令和8年度(公財)宍粟市文化振興財団予算総括表

収入の部

(単位:円)

大 科 目	当 初 予 算 額	前年度当初予算額	比 較	予 算 の 説 明
基本財産運用収益	125,000	146,000	△ 21,000	
事 業 収 益	68,843,000	68,187,000	656,000	
受 取 寄 付 金	0	0	0	
雑 収 益	267,000	267,000	0	
計	69,235,000	68,600,000	635,000	
前期繰越収支差額	500,000	500,000	0	
収 入 合 計	69,735,000	69,100,000	635,000	

支出の部

(単位:円)

大 科 目	当 初 予 算 額	前年度当初予算額	比 較	予 算 の 説 明
一 般 管 理 費	170,000	150,000	20,000	
管理運営事業費	40,097,000	42,517,000	△ 2,420,000	
自 主 事 業 費	29,168,000	26,333,000	2,835,000	
予 備 費	300,000	100,000	200,000	
支 出 合 計	69,735,000	69,100,000	635,000	

令和8年度 公益財団法人宍粟市文化振興財団予算

(単位:円)

大科目	中科目	当初予算額	前年度予算額	比較	予算の説明
基本財産運用収入		125,000	146,000	△ 21,000	
	基本財産受取利息	125,000	146,000	△ 21,000	
事業収益		68,843,000	68,187,000	656,000	
	自主事業収入	14,813,000	14,007,000	806,000	事業増加
	広告料収入	30,000	180,000	△ 150,000	会館ニュース広告掲載取りやめ
	受託事業収入	0	0	0	
	指定管理収入	31,100,000	33,300,000	△ 2,200,000	
	自主事業助成金	14,200,000	12,000,000	2,200,000	
	会館使用料収入	8,700,000	8,700,000	0	
受取寄付金		0	0	0	
	受取寄付金	0	0	0	
雑収益		267,000	267,000	0	
	受取利息	7,000	7,000	0	
	雑収益	260,000	260,000	0	
計		69,235,000	68,600,000	635,000	

前期繰越収支差額		500,000	500,000	0	
	前期繰越収支差額	500,000	500,000	0	
収入合計		69,735,000	69,100,000	635,000	

大科目	中科目	当初予算額	前年度予算額	比較	予算の説明
一般管理費		170,000	150,000	20,000	
	旅費交通費	155,000	130,000	25,000	
	福利厚生費	15,000	15,000	0	
	会議費	0	5,000	△ 5,000	
管理運営事業費		40,097,000	42,517,000	△ 2,420,000	
	給料手当	3,849,000	13,474,000	△ 9,625,000	職員2名退職
	臨時雇賃金	6,284,000	0	6,284,000	臨時職員雇用
	退職給付費用	0	120,000	△ 120,000	
	退職給付費用当期繰越額	0	0	0	
	福利厚生費	1,807,000	2,359,000	△ 552,000	
	会議費	1,000	1,000	0	
	旅費交通費	30,000	15,000	15,000	
	通信運搬費	235,000	227,000	8,000	
	減価償却費	0	0	0	
	消耗什器備品費	0	0	0	
	消耗品費	474,000	421,000	53,000	物価高騰
	修繕費	600,000	600,000	0	
	印刷製本費	41,000	41,000	0	
	燃料費	3,238,000	3,238,000	0	
	光熱水料費	6,258,000	6,296,000	△ 38,000	
	賃借料	607,000	588,000	19,000	
	保険料(車)	33,000	33,000	0	
	保険料(その他)	127,000	108,000	19,000	
	諸謝金	0	0	0	
	租税公課費(車)	0	0	0	
	租税公課費(消費税等)	1,529,000	1,629,000	△ 100,000	
	支払手数料(車)	0	0	0	
	支払手数料(その他)	393,000	276,000	117,000	登記費用
	支払負担金	62,000	62,000	0	
	委託費(事業)	7,148,000	6,152,000	996,000	契約内容改定
	委託費(その他)	7,381,000	6,877,000	504,000	契約額改定

自主事業費		29,168,000	26,333,000	2,835,000	
	給料手当	3,839,000	3,218,000	621,000	雇用条件改定
	臨時雇賃金	4,222,000	3,359,000	863,000	会計年度職員給与規定改定
	福利厚生費	1,172,000	975,000	197,000	
	会議費	350,000	290,000	60,000	お弁当単価高騰
	旅費交通費	78,000	20,000	58,000	
	通信運搬費	230,000	228,000	2,000	
	消耗品費	110,000	96,000	14,000	
	印刷製本費	1,408,000	1,403,000	5,000	
	賃借料	2,528,000	2,550,000	△ 22,000	
	諸謝金	1,174,000	5,621,000	△ 4,447,000	和太鼓教室委託契約へ変更
	租税公課費	405,000	405,000	0	
	支払手数料	126,000	127,000	△ 1,000	
	委託費	13,526,000	8,041,000	5,485,000	事業本数増加・和太鼓教室委託契約
予備費		300,000	100,000	200,000	
	予備費	300,000	100,000	200,000	
支出合計		69,735,000	69,100,000	635,000	

報告第12号

市議会の権限に属する事項中市長の専決処分事項の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により定めた市長において専決処分をすることができる事項について、次のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告する。

令和8年7月16日提出

宍粟市長 福元晶三

事件概要	相手方	損害賠償額	専決年月日
令和7年1月31日午前9時24分頃、宍粟市山崎町木ノ谷183番地1東方約100メートルにおいて、労働者派遣元事業主公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会会員が職務 上市有自動車を運転中に過失により相手方に身体的被害を与えたもの	宍粟市 個人	38,897,311円	令和8年 7月6日